

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名 項目	新しい国語	2
		東京書籍
内容	<p>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</p> <p>○各単元で身につけさせる力を「言葉の力」として明確にし、「ふり返る」で児童自身が何をどのように学んだかを確認できるようになっている。</p> <p>○「生かそう」では、学習で習得した言葉の力の活用を促している。</p>	
	<p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</p> <p>○「単元の問い」が設定されており、問いを解決していく過程で、言葉による見方・考え方を働かせる工夫がなされている。</p> <p>○「書くこと」では、説明や報告、創作、意見など主体的に取り組める題材が段階的に設置されており、他教科との関連づけも図られている。</p> <p>○ふり返りとしての「言葉の力」では、考える観点が明確に示され、児童が学びを深められるようになっている。</p> <p>○複数の情報の内容を関連づけて理解したり思考を深めたりする教材が全学年に設定されている。</p>	
	<p>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</p> <p>○様々な人の生き方や、他者への思いやり、生命の尊厳に触れる教材が設定されており、豊かな人間性を育む工夫がなされている。</p> <p>○今日的な課題の教材が全学年に配置され、主体的に課題を解決する力の育成を図るとともに、考えを深めたり広げたりできるよう工夫されている。</p>	
	<p>&lt;言語感覚を養うための工夫&gt;</p> <p>○「言葉」「ことばあつめ」「言葉の広場」が設定され、言葉の特徴や使い方の理解を深めるとともに、使える語彙を増やす工夫がなされている。</p>	
	<p>&lt;読書に親しむ態度を育成するための工夫&gt;</p> <p>○「本は友達」「〇年生の本棚」で500冊以上の多様な本が紹介されており、年間をとおして多読を促す工夫がなされている。</p>	
資料	<p>○巻頭詩とイラストは児童が学びへの希望が持てる作品となっている。</p> <p>○1年生の入門期は、元気で生き生きとしたデザインとなっている。</p> <p>○新聞や広告などの実用的なテキストや複数の資料が、読み比べたり関連づけて考えたりできるように配置されている。</p> <p>○効果的な絵や図が多用されており、理解を深める助けとなっている。</p>	
表記・表現	<p>○書体や配色を工夫し、全ての児童にとって見やすく、読みやすいよう配慮がなされている。</p>	
総括	<p>○全学年で「言葉の力」を明確にしており、学習の系統性が重視されている。</p> <p>○各単元の「ふり返る」では、児童が自身の学びを確認できるようになっている。</p> <p>○今日的な課題の教材が配置され、主体的に課題を解決する力の育成を図るとともに、自分の考えを深めたり広げたりできるようになっている。</p> <p>○児童に定着しづらい学習内容が明確にされ、それを補完する教材が各学年に配置されており、学力の向上を図れるようになっている。</p>	

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名 項目	みんなと学ぶ 小学校国語	11
		学校図書
内容	<p>〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉</p> <p>○各学年で「何を学ぶのか」が明確になっており、ふり返りでは「何ができるようになり、何が足りないか」を自覚できるようになっている。</p> <p>○学習のねらいに即した言語活動が各単元に設置され、言語活動を通して学びを積み上げられるように配慮されている。</p>	
	<p>〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉</p> <p>○「問い」を引き出し、主体的に学ぶ力の育成が図れるようになっている。</p> <p>○「読むこと」から「書くこと」への学びの関連が図られており、意欲や探究心のつながりや読解の力が、書く活動に効果的に働くように工夫されている。</p> <p>○「書くこと」の指導が段階的で、複数の事例から学べるようになっている。</p> <p>○さまざまな思考ツールによる表し方が示されており、情報を視覚的に捉えて整理する力の育成が図れるようになっている。</p>	
	<p>〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉</p> <p>○環境問題、AI、国際理解など、今日的課題に関する多様な教材が段階的に設定されており、児童が積極的に課題に関わり、社会形成に参画する態度が養えるよう配慮されている。</p>	
	<p>〈言語感覚を養うための工夫〉</p> <p>○「言葉のいずみ」「言葉のきまり」で語彙や文法、表記に関する習得と定着が図れるようになっており、日常生活の文脈の中で使える言葉の力を育めるよう工夫されている。</p>	
	<p>〈読書に親しむ態度を育成するための工夫〉</p> <p>○ブックトークやアニメーションの活動を行いながら、探求的な読書ができるように促し、進んで読書に向かえるように工夫されている。</p>	
資料	<p>○学びを共に進めるキャラクターに親しみが持てる。</p> <p>○新出漢字一覧は、単元ごとに読み方、画数、書き順、用例を掲載している。</p> <p>○巻末資料「○年生までに学習した漢字」は音訓索引配列となっており、児童自ら全ての漢字を引けるよう配慮されている。</p>	
表記・表現	<p>○入門期の本文は手書き文字に近い教科書体で構成されており、読みやすい文字と行間に配慮されている。</p>	
総括	<p>○環境問題、AI、国際理解など、今日的課題に関する多様な教材が段階的に設定されており、児童が積極的に課題に関わり、社会形成に参画する態度が養えるよう配慮されている。</p> <p>○「読むこと」から「書くこと」への学びの関連がはかられており、多面的に思考できるよう工夫されている。</p> <p>○「書くこと」の指導では、学習過程に沿ってモデルとなる複数の事例が示され、児童の書く活動の助けとなっている。</p>	

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名 項目	ひろがる言葉 小学国語	17
		教育出版
内容	<p>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</p> <p>○「たしかめよう・考えよう・深めよう・広げよう」の学習過程が明確で、児童が自ら学び、考える力を身につけられるよう配慮されている。</p> <p>○実生活で生きて働く言葉が習得できるような多様な言語活動が配置されている。</p>	
	<p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</p> <p>○課題の解決に向けて、意見や感想、助言を述べ合う「学び合い」の場が設けられ、対話をとおして協働する力の育成が図れるようになっている。</p> <p>○「書くこと」では目的意識や相手意識を重視しながら、実用的な文章から自己を表現する文章まで、段階的に学べるように配置されている。</p> <p>○トレーニング説明文や新しいスタイルの教材など、児童の実態に寄り添った学習内容となっており、学ぶ楽しさを味わえるよう工夫されている。</p> <p>○「てびき」には、自分の考えを形成するための観点が例示されている。</p> <p>○各単元の「広げよう」が「深い学び」につながるよう工夫されている。</p>	
	<p>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</p> <p>○生き方に触れる教材等、多様な考え方や立場によるものの見方が示されており、児童の社会性を育むとともに、自分のものの見方や考え方を広げたり深めたりできるよう配慮されている。</p>	
	<p>&lt;言語感覚を養うための工夫&gt;</p> <p>○「言葉を学ぼう」「言葉を増やそう」で語彙に対する意欲を高め、巻末の「言葉の木」は語彙拡充を促す配置となっている。</p>	
	<p>&lt;読書に親しむ態度を育成するための工夫&gt;</p> <p>○480冊以上の本が紹介されている。図書紹介等の読書交流教材が全学年に設置され、日常的な読書活動への意欲を高める工夫がなされている。</p>	
資料	<p>○1年生の入門期には、児童の気づきを引き出す優しい配色のイラストを用いている。</p> <p>○美しい写真や、作品の世界の想像を助ける資料が充実している。</p> <p>○巻末の付録は、個に応じた学習や家庭学習を支援する内容となっている。</p>	
表記・表現	<p>○ポスター作り等の例示が児童の意欲を喚起する手書き作品となっている。</p> <p>○新出漢字と前学年漢字が巻末に硬筆書体で一覧となっており、新出漢字は読み方、用例、筆順も示されている。</p>	
総括	<p>○「たしかめよう・考えよう・深めよう・広げよう」の学習過程が明確で、児童が自ら見通しを持ち、学びを進めることができるようになっている。</p> <p>○「てびき」には、自分の考えを形成するための観点が例示され、さらに、各単元の「広げよう」が「深い学び」につながるよう工夫されている。</p> <p>○表紙のイラストや資料の絵、写真が美しく、児童の学ぶ楽しさや意欲を高める効果となっている。</p>	

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名 項目	国語	38
		光村図書出版
内容	<p>＜知識及び技能が習得できるようにするための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○「とらえよう・ひろめよう・まとめよう・ひろげよう」の各過程で課題が明確に示されており、基礎的・基本的な内容が着実に身につけられるようになっている。</li><li>○単元のまとめの「大切」に加えて「生かそう」が設けられ、学習内容の習得を図るとともに、日常生活に生かす手立てとなっている。</li></ul>	
	<p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○「聞く」「話す」「伝える」活動が段階的に配置されている。</li><li>○「書くこと」では、書く必然性を持たせる教材が系統的に配置され、相手や目的を明確にすることで、書く楽しさや達成感を味わえるよう工夫されている。</li><li>○「情報の扱い方」に関する教材が系統的に構成され、情報同士の論理的な関係に着目したり、複数の情報を組み合わせたりすることで考えを深め、「考える筋道」を言葉で表す力をつけられるようになっている。</li></ul>	
	<p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○時代を超えて親しまれてきた教材と今日的な課題に関する新しい教材、また、物語や説明文に「生き方を考える」教材が配置され、友達との対話を通して豊かな感性を育む工夫がなされている。</li></ul>	
	<p>＜言語感覚を養うための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○伝統的な言語文化や日本文化が図版等とともに多く取り上げられている。</li><li>○巻末教材「言葉の宝箱」では、「考えや気持ちを伝える言葉」と「学習に用いる言葉」が一覧となっており、児童の「書く」力を助けている。</li></ul>	
	<p>＜読書に親しむ態度を育成するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○「本は友達」は、読書を日常に広げていけるよう工夫されている。</li><li>○「この本、読もう」や「本の世界を広げよう」では、450冊以上の本が表紙写真とともに紹介され、本に関心が持てるように工夫されている。</li></ul>	
	<p>資料</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>○1年生の入門期は、児童の多様な気づきを促し、経験を生かしながら想像を広げられるような絵を用いている。</li><li>○他教科で生かせる「書き方」「まとめ方」の例となる資料が充実している。</li></ul>
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"><li>○新出漢字には、本文使用以外の音訓も示されており、巻末の付録では、読み方、筆順、用例が示されている。</li></ul>	
総括	<ul style="list-style-type: none"><li>○時代を超えて親しまれてきた教材と今日的な課題に関する教材が配置され、対話を通して児童の感性を育むよう工夫されている。</li><li>○学習過程が明確になっており、それに沿って課題や指導事項が示されているため、基礎的・基本的な内容が着実に身につけられるようになっている。</li><li>○「見通しをもとう」「ふり返ろう」が設定されており、児童が主体的に学べる構成となっている。</li></ul>	

(別紙様式)

第13 採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名 項目	新編 新しい書写(東京書籍)	2
		東書
内容	<p>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</p> <p>○文字を整えて書くための「原理・原則」(書写のかぎ)が示されており、何を学ぶかが明確に示されている。</p> <p>○見つけた「書写のかぎ」を、朱墨と薄墨で示された教材で確かめることができるようになっている。</p>	
	<p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</p> <p>○基本単元で身につけた知識・技能を活用単元で活かせるようにしている。</p> <p>○「書写のかぎ」をどのように活用するのか、具体的にイメージすることができるよう、吹き出しを配置している。</p>	
	<p>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</p> <p>○「見つけよう」「確かめよう」「生かそう」の3段階で構成され、「主体的な学び」「知識・技能の習得」「深い学び」へ導くよう展開されている。</p> <p>○漢字や仮名の成り立ち、世界の文字、文字に込めた人々の思い等、文字文化に関わる内容を「文字のいずみ」として掲載している。</p>	
	<p>&lt;毛筆と硬筆との関連&gt;</p> <p>○文字を整えて書くための原理・原則(書写のかぎ)を身近な硬筆の文字から見出せるように示されている。</p> <p>○3年生以上の単元構成において「生かそう」の学習時に硬筆で書く欄が設置されており、毛筆で学んだことを応用できるようになっている。</p>	
	<p>&lt;各教科や日常生活との関わり&gt;</p> <p>○活用単元「生活に広げよう」で、他教科の学習や特別活動等で行われる「書いて伝える」活動に書写を関連づけた展開を提示している。</p>	
資料	<p>○左利きへの配慮がある。教材文字や書き込みの配置等が工夫されている。</p> <p>○1・2年生の巻末に水書用紙がついており、使い方も示されている。</p>	
表記・表現	<p>○毛筆手本には、朱墨と薄墨で書かれた文字が示され、筆順・穂先の動き・点画の長短や方向など明確になっている。</p> <p>○毛筆の点画を書く際の筆の動きを「とん」「すう」「びた」の共通の表現で示し、始筆と終筆の穂先の向きをイラストで表している。</p>	
総括	<p>○3年生以上は、「見つけよう」「確かめよう」「生かそう」の3段階で構成され、「主体的な学び」「知識・技能の習得」「深い学び」へ導く課題解決型の展開が進められるようになっている。また、その時間に学習する内容が明確に示されているため、やや大判になっている。</p> <p>○ユニバーサルデザインの観点から、配色やデザイン、字体、左利きへの配慮等の工夫がある。</p>	

(別紙様式)

第13 採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名 項目	みんなと学ぶ 小学校書写(学校図書)	11
		学校図書
内容	<p>〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○書き順が手本全ての文字に示され、点画の長短・空間の取り方・概形などの説明書きが、イラストとともに簡潔に示されている。</li><li>○低学年には、課題の発見を助けるシールを新設し、意欲の向上に配慮してある。</li></ul>	
	<p>〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○全学年の全単元が、「確かめて書こう」→「考えて書こう」→「生かして書こう」の順で学習が進められるよう統一されている。</li><li>○全ての復習・まとめの単元を書いて確かめられる構成に統一してある。</li></ul>	
	<p>〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○興味関心を持って主体的に取り組めるように、全学年にわたって「書写の資料館」などの様々なコラムを掲載している。</li><li>○書き込み欄を豊富に設けて日常生活の中で生きる学習を充実させている。</li></ul>	
	<p>〈毛筆と硬筆との関連〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○毛筆の筆遣いを想起しながら硬筆の学習ができるよう書き込み欄が豊富である。</li><li>○6年生の発展教材として、中学校で学習する「行書」を取り上げている。</li></ul>	
	<p>〈各教科や日常生活との関わり〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○文字に関わる様々な資料を全学年に豊富に掲載している。</li><li>○3年生以上は、「はがき・原稿用紙・手紙の書き方」を掲載している。</li></ul>	
	<p>資料</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○姿勢や用具の持ち方や扱い方を、巻頭の折り込みに写真と解説を付けて掲載している。</li><li>○写真やイラストを数多く使い、見やすく分かりやすい工夫がされている。</li><li>○文字に関わる様々な資料を全学年に豊富に掲載している。</li></ul>	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"><li>○学習のポイントが分かりやすいように、キャラクターの吹き出しで示している。</li><li>○運筆の様子が分かるように、穂先を朱墨にした筆で書いた写真を掲載している。</li><li>○初めて学習する漢字は、ページ下部に読みと筆順を示すことで、書き方のスムーズな習得に配慮してある。</li></ul>	
総括	<ul style="list-style-type: none"><li>○単元の始まりに、「学習の進め方」が掲載されており、児童が主体的に学習できるよう意図されている。</li><li>○ユニバーサルデザインの観点から、配色やデザイン等が配慮されている。</li><li>○写真やイラストを活用し、楽しく学習ができるように構成されている。</li></ul>	

(別紙様式)

第13 採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名 項目	小学校 書写(教育出版)	17
		教育出版
内容	<p>〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○書き順が手本全ての文字に示され、「ここが大切」では、ポイントが明確に記載されている。</li><li>○穂先が朱墨の筆で書かれていて、穂先の通り道が分かりやすくなっている。</li></ul>	
	<p>〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○「学習の進め方」が学年によって、4～7段階で示され、「主体的・対話的で深い学び」を実現しやすくなっている。</li><li>○「分かりやすく書き表す」ことに焦点をあてて、表現力を高めている。</li></ul>	
	<p>〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○文字に関わる様々な資料を全学年に豊富に掲載している。</li><li>○自分の課題に合った学び方を選択する場面がある。</li></ul>	
	<p>〈毛筆と硬筆との関連〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○毛筆の筆遣いを想起して、ためし書きとまとめ書きの欄がある。</li><li>○6年生の発展教材として、中学校で学習する「行書」が取り上げられている。</li><li>○1年生教科書の巻末に「水書用紙」があり、何度も練習できる。</li></ul>	
	<p>〈各教科や日常生活との関わり〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○全学年において「レッツ・トライ」が掲載されていて、他教科や学校生活に生かせるように工夫されている。</li><li>○全学年、「手紙やはがきの書き方」を掲載している。</li></ul>	
	<p>資料</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○姿勢や用具の持ち方や扱い方を、巻頭の折り込みに写真と解説を付けて掲載している。</li><li>○写真やイラストを数多く使い、見やすく分かりやすい工夫がされている。</li></ul>	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"><li>○学習のポイントが分かりやすいように、キャラクターの吹き出しで示している。</li><li>○運筆の様子が分かるように、穂先を朱墨にした筆で書いた写真を掲載している。</li></ul>	
総括	<ul style="list-style-type: none"><li>○単元の始まりに、「学習の進め方」が掲載されており、児童が主体的に学習できるよう意図されている。</li><li>○色覚等の特性を踏まえて、判読しやすい配色やレイアウトになっている。</li><li>○写真やイラストを活用し、楽しく学習ができるように構成されている。</li></ul>	

## 第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名 項目	書写(光村図書)	38 光村
内容	<p>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○3年以上の毛筆教材では、筆の動きが分かりやすいように、2色の濃淡図を用いて示している。</li> <li>○「たいせつ」では、基礎的基本的な知識技能を身に付けさせるために、基本点画の書き方のポイントを示している。</li> </ul>	
	<p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○イラストやマーク等を取り入れ、学習する際の注意点を視覚的に示している。</li> <li>○3学年には「たしかめようシール」がついており、筆使いのポイントを確認することで、学びが整理できるように工夫されている。</li> </ul>	
	<p>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○3学年以上では、「考えよう」「確かめよう」「生かそう」の学習過程を明確に示し、見通しをもって主体的に学べるように工夫されている。</li> <li>○4学年以上では、礼状を書いたり感謝の寄せ書きをしたりと、思いを書いて伝える機会が設けられている。</li> </ul>	
	<p>&lt;毛筆と硬筆との関連&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○どの毛筆学習にも「学習したことを生かして硬筆で書こう」という文言があり、書き込みができるようになっている。</li> <li>○1学年には水書シートがついており、筆使いを何度も体験できるようになっている。</li> </ul>	
	<p>&lt;各教科や日常生活との関わり&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○手紙・原稿用紙・リーフレットの書き方等を学年に応じて取り上げ、各教科や日常における活用例が資料とともに示されている。</li> </ul>	
資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○巻頭に姿勢や用具の持ち方や扱い方を示し、6学年には6年間で学習する書写の要素をまとめた「書写ブック」がついている。</li> <li>○教材一つ一つにQRコードをつけ、動画等の補助資料につながるようにしている。</li> </ul>	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○運筆を、「トン・スー・トン」と文字化し、同時に猫のイラストの動きでも表現されていてわかりやすい。</li> <li>○穂先の向きをキャラクターマークで明確に表し、運筆の連続写真と共に詳しく解説されている。</li> </ul>	
総括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○どの学年でも、巻頭に姿勢や用具の持ち方を示し、その習熟を図るため、3学年からは、巻頭に学習の進め方を示し、自ら学べるようにしている。</li> <li>○「漢字図鑑」を設け、漢字の成り立ちについて関心が高まるように工夫されている。他教科や日常に関連する教材も多く取り扱われている。</li> <li>○キャラクターに動きをつけ、書くときのイメージをもたせる工夫がされている。</li> </ul>	

## 第 1 3 採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名 項目	小学書写(日本文教)	116 日文
内容	<p>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</p> <p>○筆づかいのポイントが視覚的に捉えられるように2色の淡墨図や連続写真、矢印、点線を使って丁寧に示している。</p> <p>○平仮名・片仮名・漢字を偏りなく学習できるように考慮し、学習課題を焦点化した文字や語句が教材とされている。</p> <p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</p> <p>○単元の初めの「考える」やキャラクターの吹き出しによって、主体的に取り組めるように工夫されている。</p> <p>○1～3年生では、「とめ」「はね」「はらい」などの筆使いがイメージできるように、イラストを使って示されている。</p> <p>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</p> <p>○1・2年では、「かんがえる」「たしかめる」「かいてみる」3年以上では、「考える」「たしかめる」「生かす」という学習の流れで統一され、学習過程を明確化し、見通しをもって主体的に学べるように工夫されている。</p> <p>○5・6年生では、「復興支援ソング」の一部や「卒業に向けてのメッセージ」を扱うことで、自らを見つめながら文字を書く機会が設けられている。</p> <p>&lt;毛筆と硬筆との関連&gt;</p> <p>○毛筆と硬筆との関連を図り、「生かす」で、鉛筆によるなぞり書きができるようになっている。</p> <p>○水書用教材については、1・2年生の関連する学習において、添付されている水書用紙を活用することが示されている。</p> <p>&lt;各教科や日常生活との関わり&gt;</p> <p>○「絵日記を書こう(生活)」「よこに書く時(算数)」「掲示物の書き方(総合)」「れんらくちょうに書こう(日常生活)」など、他教科との連携を図った教材が「国語の広場」に多数設定されている。</p>	
資料	<p>○姿勢や用具の扱い方をいつでも見られるように、巻頭に資料を掲載している。</p> <p>○巻頭にホームページアドレスをつけ、文字の書き方などを動画で確認できるように工夫されている。</p>	
表記・表現	<p>○毛筆教材では、初めに書く上でのポイントを示した後に手本が掲示されている。</p> <p>○全学年で、書く姿勢と筆記具の持ち方、3年生以上では毛筆用具の扱い方が写真やイラストで示されている。</p>	
総括	<p>○「考える」「確かめる」「生かす」の学習の進め方が示され、見通しをもって主体的に学べるように工夫されている。</p> <p>○キャラクターの言葉には、目標を達成するためのヒントが含まれており、学びが深まるように工夫されている。</p> <p>○「言葉の窓」では、文字から言葉への関心が高まるように、「国語の広場」では、他教科や日常との関連が図れるように工夫されている。</p>	

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名 項目	新しい社会(東京書籍)	2
		東書
内容	<p>＜知識及び技能が習得できるようにするための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○「ことば」やつかませたい内容が各学年共通の枠で囲んで示されていたり、重要な用語は文中で太字で示されたりして、重要な用語や内容が明確に示されている。また、各ページ重要事項が精選され、数が少ない。</li><li>○「まとめる」で、関係図や年表、プレゼン資料など、多様なまとめ方が明記されているとともに、まとめ方の手順やポイントも示されている。</li></ul>	
	<p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○「いかす」では、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて提案したり、自分たちにできることを考えたりするなど、社会への関わり方を選択・判断する力を養う活動が明記されている。</li><li>○各学年共通で「学習の進め方」のページがあり、学習の進め方と社会的事象の見方・考え方に関する記述が見られる。</li></ul>	
	<p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○各単元「つかむ」「調べる」「まとめる」が位置付けられ、問題解決を意識して学習できるようになっている。発展内容として「いかす」「ひろげる」が設けられている単元もある。</li><li>○「まとめる」「いかす」で、他者や地域に発信する学習が示され、発信することを通して、児童に地域や国民の一人としての自覚を促すような構成になっている。</li></ul>	
	<p>＜学習の問題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○各ページ見開き構成で、左ページの下部に学習する具体的な活動や追究する視点が明記されている。</li></ul>	
資料	<ul style="list-style-type: none"><li>○学校や地域の実態に応じた学習ができるよう、事例を選択して学習できるようになっている単元がある。</li><li>○「学び方コーナー」で、学び方や調べ方の方法や手順が示されている。</li></ul>	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"><li>○登場人物にめあてや課題など重要事項を語らせることで、興味・関心をもち学習に臨めるよう配慮されている。</li><li>○登場人物が「どのような」「なぜ」という言葉を使って問いかけることで、そのページで調べたり追究したりする内容を焦点化している。</li><li>○三年生の始めの単元では、「わかったこと」という欄があり、登場人物の問いに対して調べてわかったことや考えたことが整理されて記載されている。</li><li>○事例地の学習であれば、地図が、歴史であればどの年代かがわかるように、「つかむ」のページに併記され、見通しをもって学べるようになっている。</li></ul>	
総括	<ul style="list-style-type: none"><li>○発達段階に応じた学び方が「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」の四段階で示され、学習の進め方が身に付けられるような構成になっている。また、社会的事象の見方・考え方を働かせるためのポイントが具体的に明記されている。</li><li>○「いかす」では、他者や地域に対して自分たちの考えや自分たちにできることを考え、発信する学習活動が示されている。</li><li>○「他教科との関連」を示す箇所があり、教科横断的な視点で教科書を活用できるようになっている。</li></ul>	

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名 項目	小学校社会(教育出版)	17 教出
内容	<p>〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉</p> <p>○学習指導要領の目標・内容・内容の取扱いを踏まえ、基礎的・基本的事項がおさえられている。また、「やってみよう」や「もっと知りたい」など学習の広がりを意識した構成になっている。</p> <p>○この時間は学習の流れのどの場面で今日は「何を学習し、何を調べ、何がわかればよいのか。」ということが意識された構成となっている。</p> <p>〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉</p> <p>○学習の手引きの中で「図に表す」「アンケートをとる」など調べたことの表現方法がたくさん例示されている。またそれを踏まえ自分の考えを表現するコーナーが設けられ、リード文やキーワードなど表現のためのヒントが示される配慮がなされている。</p> <p>〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉</p> <p>○問題解決的な流れが意識され、生活場面から話が組み立てられている。まとめや学習の広がりを扱うコーナーでは学習してきたことを生かして自分たちの身の回りを再度見直すような構成となっている。</p> <p>○「学びのてびき」が設けられ、インタビューの仕方や手紙の書き方、電話のかけ方など調査方法が例示されている。随所に学習を振り返るコーナーが設けられており、まとめ方について豊富に例示されている。</p> <p>〈学習の問題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫〉</p> <p>○小単元の「まとめる」では、本文側注で取り上げられたキーワードを書き込むことにより、知識を整理でき、次の「深める」では、自分の考えを表現する言語活動を取り入れている。また、「もっと知りたい」を設定し、発展的な学習を促している。</p>	
資料	<p>○問題解決的な学習の流れが意識され、子どもの生活場面を意識した資料提示がなされている。</p> <p>○数値だけでなく量的、視覚的にとらえやすいよう表やグラフが多用されている。</p>	
表記・表現	<p>○各学年4人の登場人物が登場し、子どもたちの目線で学習が深まるようなガイドをする構成になっている。</p> <p>○単元の学習問題やこの時間の問いなど学習場面に応じた問いやそれをまとめるためのキーワードが示されている。</p>	
総括	<p>○行間にゆとりがあり、ユニバーサルデザインフォントを使った文字や資料などの印刷は鮮明で、地図やグラフなどの資料も読み取りやすい。</p> <p>○教科書本文でなくてもルビがふってあったり、カラーユニバーサルデザインが取り入れられていたり、多様な児童に対応できるような配慮がみられる。</p> <p>○学習の展開を見通す「モデル図」が示されており、学習の見通しが持ちやすく、振り返りやすい構成となっている。</p>	

(別紙様式)

第13 採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名 項目	小学社会(日本文教出版)	116
		日文
内容	<p>〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○「キーワード」「むずかしい言葉」等、社会科を学習する上で必要な重要語句について、わかりやすく解説している。また、本文中ではゴシック体で表記するなど、学習内容の定着が図られるよう工夫されている。</li><li>○「学び方・調べ方コーナー」において、観察や調査、資料の読み取り、表現活動等の技能が身に付けられるよう工夫されている。</li></ul>	
	<p>〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○「見方・考え方コーナー」では、「空間・時間・関係」の3つの視点で多角的に考える工夫が見られる。また、学習指導要領が定める内容について「自分(たち)ができること」は何かを考えることができるよう工夫されている。</li><li>○「〇〇さんのノート」等、学習問題について調べたことや考えをまとめる基本的な方法が例示されている。</li></ul>	
	<p>〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○巻頭「〇年生の社会科の学習で大切なこと」では、各学年における学習内容、何を学習し何ができるようになるか、が示され、児童の主体的な学習を促している。また、「学習の計画」により、学習問題を解決するために「調べたいこと」「調べる方法」「まとめ方」等、見通しをもって学習できるよう工夫されている。</li><li>○「〇〇さんの話」では、社会的事象に関わるさまざまな人たちの話(思い)が取り上げられており、より実感をもって学習内容に共感できるようになっている。</li></ul>	
	<p>〈学習の問題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○各単元において、子供同士が話し合う場面が多用されている。意見を出し合い、考えを深める様子が示されており、具体的な話し合いの方法をイメージして取り組めるよう工夫されている。</li></ul>	
資料	<ul style="list-style-type: none"><li>○事例地には偏りがなく、学校や地域の実態等に対応する配慮がされている。また、中心となる資料のスペースが大きく取られており、見やすい配列となっている。</li><li>○「学び方・調べ方コーナー」により、観察や調査、資料の読み取り、表現活動等の技能が身に付けられるよう工夫されている。</li></ul>	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"><li>○6名の小学生が登場し、児童の主体的な学習を促すよう工夫されている。</li><li>○見開き各ページの「わたし(たち)の問題」や本文中の各登場人物による気付きや疑問を示す発言により、児童の問題意識を高めるよう工夫されている。</li><li>○単元ごとに課題や資料の色を同系色で統一している。また、正確な読み取りができるように、本文を①学習活動②友だちの発言③学習内容の3つに分けている。</li><li>○写真や図表などの資料には、①、②等の図版番号が付けられ、確認がしやすいよう工夫されている。</li></ul>	
総括	<ul style="list-style-type: none"><li>○見開き1ページの構成で、問題解決的な学習の過程がわかりやすく示されている。</li><li>○話し合いをはじめとする学び合い場面のページが多く見られ、主体的で対話的な深い学びと、社会との関わり方を選択・判断する助けとなる活動が具体的に示されている。</li></ul>	

(別紙様式)

第 1 3 採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名 項目	新しい地図帳(東京書籍)	2
		東書
内容	<p>〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉</p> <p>○「地図帳の使い方」では、地図の読み方や索引の使い方が図とイラストで説明されるとともに、凡例では各地の特産物等がイラストで具体的に示されている。統計資料「日本の都道府県の統計」では、面積や特産品などの項目で上位にあるものの数値や品目を、色を変えて示し、特色が目立つようにしている。</p>	
	<p>〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉</p> <p>○「日本の貿易」では、貿易相手国との輸出入額の割合と品目が、円グラフとイラストを組み合わせることで、視覚的にとらえられるようになっており、各国と日本の貿易の傾向について考えられるようになっている。</p>	
	<p>〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉</p> <p>○登場人物が「～してみよう」と問いかけることで、児童が地図を利用して調査活動に取り組むように促している。また、統計情報に日本の伝統工芸品や郷土料理の項目があったり、外国の国名のところに英語表記が併記されていたりして、日本の伝統や国際理解の観点が踏まえられている。</p>	
	<p>〈地図・資料の特徴〉</p> <p>○写真資料や統計資料に出典や撮影年が明記されている。また、「D マーク」として教科書会社へのネットアクセスや関連する資料サイト名を明記し、自分たちで追究し理解を深めることができるように工夫されている。</p>	
資料	<p>○多くの市町村の特産品がイラストで示されており、自分たちの都道府県や市町村の特色を調べたくなるようになっている。</p> <p>○写真やイラストで視覚的に情報をとらえられるようにしている。</p> <p>○「索引」では、地名の左側に市町村や旧蹟などが分かる記号があったり、色分けがされていたりしており、目的に応じて索引が活用できるようになっている。</p>	
表記・表現	<p>○児童の気づきや追究を促すために、登場人物の発する言葉に工夫がみられる。</p> <p>○具体的なイラストが多数使われており、「くらべてみよう日本と世界」では、大きさや高さが直接比較できるように工夫されている。</p> <p>○ユニバーサルデザインに基づく、凡例の色彩や字形・字の色や配置に配慮が見られる。凡例、陸の高さ・海の深さも概ねどのページでも同じで統一感があり、どのページも同じ認識で調べられるようになっている。</p> <p>○見出し、縮尺の位置が、どのページも同じ構成で、使いやすさを考えている。</p>	
総括	<p>○地図活用入門期の児童を想定し、各国の特色を示すイラストマップ型の世界地図や地図の使い方の説明が、冒頭から 14 ページに示されている。</p> <p>○イラスト、写真や土地利用の色分けなどで視覚的に特色を示すとともに、構成や文字の見やすさに配慮し、誰にでも使いやすい作りになっている。</p>	

(別紙様式)

第13 採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

項目	書名	46
		楽しく学ぶ小学生の地図帳(帝国書院)
内容	<b>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</b> ○「地図って何だろう」「地図のやくそく」「地図帳の使い方」で、地図の成り立ちや方位・地図記号・凡例・土地利用・索引・縮尺等の基本的な地図の読み方や地図帳の使い方を示している。	
	<b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b> ○「地図マスターへの道」として問いが80問用意されており、地図活用の技術とともに位置や空間的広がりに着目して社会的事象を捉える見方・考え方を養えるよう工夫されている。	
	<b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b> ○「日本の自然災害と防災」において、過去に起きた自然災害や災害に備える工夫を示すとともに、児童自らが身を守るために何ができるかを考える「防災マップづくり」とその手順が示されている。	
	<b>&lt;地図・資料の特徴&gt;</b> ○基本図は、広く見わたす地図、都道府県を見る地図、くわしく見る地図、世界の地図に分類されて掲載されている。資料のページの資料図や統計とともに最新の資料に基づいて作成されている。	
資料	○「地球儀を使おう」では、経度と緯度、方位、距離、面積や形を調べる方法について図や写真で提示されている。また、各ページの二次元コードを読み込むことによりタブレットパソコン等を利用した学習が展開できるようになっている。 ○写真やイラストを多用するとともに、統計資料では、地方・地域別に色分けするなど、親しみやすさや見やすさに配慮している。 ○索引は、地名の左に地名の種類を表す記号が示され、地名は種類によって赤太字、赤字、青字、緑字、黒字に色分けして示されている。	
表記・表現	○登場人物による疑問や気付きの言葉を吹き出しの中に表記することで、児童の課題意識を高める工夫をしている。 ○楽しみながら地図に親しめるよう、地図中に農産物、工業製品、施設等のイラストが多数使用されている。 ○土地利用の様子は4～8種類の色で表現されている。陸の高さや海の深さは1～7段階の色で分けられている。山地については高く浮き立って見える立体的な表現となっている。 ○地図の表題は基本的に見開きページの左上にあり、統一感のある割り付けである。また、ページ右側には見出しが付いており、地図の探しやすさに配慮している。	
総括	○巻頭で地図の約束、地図帳の使い方について12ページにわたり解説されている。大きめの図や表、地図記号、親しみやすいイラスト等、児童が親しみをもって地図の学習に取り組めるよう配慮されている。 ○基本図や各地域の地図のページでは、関連する写真やイラスト、鳥瞰図等の資料が配置されており、多面的・多角的な見方ができるようになっている。	

## 第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名 項目	新しい算数	2
		東京書籍
内容	<b>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</b> ○単元途中の練習問題に「ほじゅうのもんだい」の具体的な番号が示され、単元末の「たしかめよう」では学習したページを示して、個々の習熟度に応じて強化したり確認に戻ったりする手がかりが示され、主体的に学習を進めて基礎的技能が確実に習得できるように工夫されている。また、巻末には「ふりかえりコーナー」として前学年までの既習内容が確認できるようになっている。	
	<b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b> ○4～6学年は巻末に「数直線の図を使って考えてみよう」を設定して、かき方や読み取り方を丁寧に示し、いつでも確かめながら繰り返し学習に用いることができるようになっている。また、3学年以下も、繰り返し図をかいたり読んだりする欄を用意し、段階的に活用する力が高められるようになっている。 ○「算数マイノートを学習に生かそう」というページで学期に1回、問題解決の思考の流れや手立て、ノートの書き方を振り返り、表現する力を高める工夫がされている。	
	<b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b> ○「算数マイノートを学習に生かそう」というページに学習感想を3例ずつ示し、よりよい問題解決の着眼点や、生活や学習に活用しようとする態度が身につく工夫がされている。	
	<b>&lt;数学的活動を充実させるための工夫&gt;</b> ○巻頭に「学びのとびら」、学期に1回ずつ「今日の深い学び」というページを設定し、問題解決型学習を繰り返し体感して学び方を学べるように工夫されている。 ○「いかしてみよう」で日常生活の問題、「おもしろ問題にチャレンジ」で算数・数学の世界で学習内容を生かす問題を取り上げ、学びを生かす力の育成、興味の広がりを目指している。 ○考えるきっかけや考えの伝え方を吹き出しや囲み文で数多く掲載し、主体的な学びを促す紙面になっている。 ○「プログラミングを体験しよう!」というページ(5・6学年)でプログラミング的思考の育成を図ったり、Dマークのある所はQRコードからインターネットを使って学習の補強ができたりする工夫がみられる。	
資料	○身の回りで目にするものの写真を使って興味を引き、さし絵や図は目に優しい落ち着いた色使いで仕上げられている。 ○資料のテーマには、環境、食、防災、情報通信技術など現代的な課題を取り上げ、主体的、対話的で深い学びにつながりやすい。	
表記・表現	○色分けで見やすいだけでなく、赤い下線を加えて重要さを強調している。 ○新しい記号、用語は、太字だけでなく波線を引いて視覚に訴え、書き順や練習スペースも設けられている。	
総括	○児童が主体的に学習に取り組めるよう、随所にヒントの言葉、振り返りや発展的問題に取り組むために見るべきページや番号等がちりばめられている。 ○巻末にある前学年までの既習事項が「ふりかえりコーナー」として内容、量ともに充実しており、図が多用されてわかりやすく、想起する手がかりとして有効である。 ○問題解決的な学習の流れの理解や表現力を高める吹き出しや参考資料も多い。	

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名 項目	たのしい算数	4
		大日本図書
内容	<b>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</b> ○単元末及び単元間での問題演習では、関連のあるページが明示されており、分からない時の復習や補充の問題につなげられている。 ○巻末のQRコードから、Web上で問題に取り組んだり動画を閲覧したりできるようになっており、家庭でも学習しやすくなっている。	
	<b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b> ○課題解決の場面では、登場キャラクターに解き方の意味を問いかけさせる（なぜ、どうして）ことで、どのような意図を持って式や図が用いられたかを考える機会を作っている。	
	<b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b> ○1～3学年では「おうちで算数」コーナーで、保護者と一緒に家庭での実践をするよう促している。巻末のQRコードからは、実践に向けた手引きを閲覧できるようになっている。 ○単元導入の問題提起の場面では、日常の場面に近い課題を取り上げている。	
	<b>&lt;数学的活動を充実させるための工夫&gt;</b> ○単元の始めでは、実物を操作して調べたり、ゲーム的活動から問題を提示したりして、数学的な事象を体験する機会を増やしている。 ○「算数たまてばこ」のコーナーでは、学習の補足や内容をいかした活動などを紹介し、学習したことを深める工夫がされている。 ○各学年巻頭の「算数まなびナビ」で問題解決の過程を意識づけている。また、ノートを使い方の実例や、話し方・聞き方のポイントを示したり、巻末のひらめきアイテム集で見方・考え方をメモさせたりすることで、数学的活動を促す工夫がされている。	
資料	○2年生以降では巻末に「〇年までのまとめ」コーナーが設けられており、当学年での学習内容に関わる既習を確認できる。また、4年生以降では毎回数直線図のかき方を掲載し、課題解決に活用できるようにしている。	
表記・表現	○考えを比較する場面では、見開きを使うなどして黒板と同様の横一列に配置してあり、見比べやすさに配慮されている。 ○新出の用語は太いゴシック体で示され、強調されている。 ○新出の用語や公式と、新しい考え方とで囲い枠の色を変えて区別している。	
総括	○全学年1冊でまとめられており、既習事項の確認のしやすさや、学習の系統性の分かりやすさが重視されている。 ○ICTを活用した資料を充実させていることは、学校内だけでなく、学校外での活動を充実させたり家庭を学びに参加させたりする上で有効である。 ○高学年で扱うプログラミングには、Web上で利用できるScratchを採用しており家庭で利用出来学びの場を学校に限定しない工夫をしている。	

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名 項目	みんなと学ぶ小学校算数	11
		学校図書
内容	<b>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</b> ○単元末の問題演習では、項目ごとにどんな力がつきたか（どんな力をいかすか）が明示されている。 ○巻末に「ほじゅうの問題」が用意されており習熟度に応じた学習ができるようになっており、基礎基本の定着を図る工夫がある。	
	<b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b> ○学習の展開場面では、2学年から9種類の「考え方モンスター」が登場し、思考の進め方が例示されている。6年生の別冊では、中学数学につながる手がかりとしても取り上げている。	
	<b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b> ○「深めよう」のコーナーで、生活場面と深く関わる数学的事象を紹介したり、問題を提示して解決したりしている。 ○学習の流れを示す言葉を「～たいな」と児童の目線に立った言葉にしており意欲を喚起するよう工夫されている。	
	<b>&lt;数学的活動を充実させるための工夫&gt;</b> ○色を塗る、穴埋めをするなど、教科書に書き込む活動を通して学ぶ場面が多く設定されている。 ○問題提示の場面では、日常でも起こり得る問題を提示している。 ○問題解決の場面では、例示されたいくつかの考え方を説明する活動を通して話し合いを促している。 ○1年生から毎学年末に系統的にプログラミングを扱っている。	
資料	○実際にかき込んで使用する図や表が多く掲載されている。また、教科書全体に余白が多めに取られており、メモ等のかき込みがしやすくなっている。 ○データの活用領域の学習は、知識を伸ばす単元と活用力を伸ばす単元とで分けて設定されており、データと向き合う学習にじっくりと向き合えるようになっている。 ○道具の使い方やプログラミングを扱う場面では、QRコードからWeb上の資料を閲覧でき、動画や教材を操作できるようになっている。	
表記・表現	○グラフなどの図はユニバーサルデザインの観点から、色だけでなく模様で区別したり、色名を標記したりして、判別しやすく配慮されている。 ○新出の用語は太いゴシック体で示され、強調されている。 ○全体的に「かいて学ぶ」ことが重視されたつくりになっている。そのため、紙面の余白を多く設定してメモを取りやすくしている。	
総括	○巻頭に「3つの学び力をそだてよう」のページを設定するとともに、これらの考え方を使った問題を適宜配置することで思考力・判断力・表現力を育成する工夫がある。 ○全体を通して「知りたいな」「比べたいな」などと、何をする場面かを明示しており、学習の流れをつかむ手助けになっている。 ○新学習指導要領で新たに扱うことになったプログラミングやデータの活用を重視した単元や資料を扱っており、活用力を伸ばす工夫がある。	

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名 項目	小学算数	17
		教育出版
内容	<b>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</b> ○単元末の問題演習では、新出の用語や考え方の意味などを問う問題が配置され、知識理解を確認してから技能的な問題に取り組める。 ○単元途中の関連する問題の番号が明記されており、学習したページに遡って振り返ることができるよう工夫されている。	
	<b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b> ○テープ図や直線図などを扱う場面の多くにマス目が入っており、ノート指導を意識した作りになっている。 ○題材としてオリンピック関連の話題や情報リテラシーに関する話題など、今日的な話題が多く扱われており、算数と日常を近づけている。	
	<b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b> ○単元の中で「?はてな」「!なるほど」「!?だったら」と、新たな疑問の発生が思考の発展の流れであることを示している。また、巻頭でそれを算数の学習の進め方と位置付けて紹介している。	
	<b>&lt;数学的活動を充実させるための工夫&gt;</b> ○単元の始めには必ず「どんな学習がはじまるかな?」のコーナーが設けられており、学びのきっかけとなる活動が紹介されている。 ○単元末の問題演習の前には「学んだことを使おう」のコーナーが設けられており、日常の事象の解決に関わる活動や発展的な課題が紹介されている。 ○課題解決の場面では、比較の視点となる問いが示され、話し合いを充実させるための工夫がされている。	
資料	○「まなびリンク」のマークがついたコンテンツは、巻頭のQRコードからアクセスできるWeb上で閲覧できる資料が用意されている。道具の使い方を示す動画や、グラフのシミュレーションなどがある。 ○巻末にひとつ前の教科書までの学習内容との系統図や新出用語の索引が設けられており、意味の振り返りがしやすくなっている。 ○巻末に前学年までに用いた考え方や用具の使い方等を豊富に掲載しており、学習時に確認しやすくなっている。	
表記・表現	○新出の用語は太いゴシック体の赤字で示され、強調されている。 ○作図の仕方や用具の使い方などが写真で掲載されており、要点も詳しく表記されている。	
総括	○算数の学びを算数の授業以外の場面とつなげることが意識された構成になっており、他教科の学習など、学校での諸活動に関連した話題（お楽しみ会の準備、気温の変化など）がよく見られる。 ○日常と算数を結び付ける話題を積極的に取り上げ、算数の有用性を感じられる構成になっている。 ○巻末の資料では系統図や資料の内容を学習した単元が明示されており、系統性を意識した学習ができるようになっている。	

## 第 1 3 採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名 項目	わくわく算数	6 1
		啓林館
内容	<b>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</b> ○巻末に「学びのサポート」として、新しい学習に係る既習事項を確かめる「じゅんぴ」、単元途中で練習量を増やせる「もっと練習」がまとめてあり、知識・技能の定着が図れるように工夫されている。 ○「わくわく算数ひろば」を設定し活用単元での学習内容の定着を図るように工夫されている。	
	<b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b> ○巻頭に「学習の進め方」を設け、問題解決学習の流れ、板書やノートの例を示して、論理的な思考方法や表現方法が学べるようになっている。 ○巻末に「算数資料集」として、自分の考えの説明の仕方、友達の考えの聞き方、図のかき方の具体的な手順やポイントについて詳しくわかりやすくまとめたものが掲載されていて、いつでも参照できるようになっている。	
	<b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b> ○学習の終わりに、「学びのまとめ」の3ステップとして、「たしかめよう」で問題練習するだけでなく、「ふりかえろう」で学習してわかったこと、やってみようことなど学びのまとめ方、「やってみよう」で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度が身につくようになっている。	
	<b>&lt;数学的活動を充実させるための工夫&gt;</b> ○「めあて」「まとめ」が赤字で明記され学習内容がわかりやすい。 ○「学びをいかそう（わくわく算数ひろば）」では、人文字を作る場面や買い物の場面など、生活場面で活用できる問題を提示して、興味を持って身の回りの算数・数学に気づかせようと工夫している。 ○高学年の「算数ラボ」では、プログラミングを扱い、低学年からもプログラミング的思考に特に関わる内容には「P」というマークをつけ、教師にも意識できるようになっている。	
資料	○つまずきが多くみられる数量の倍関係について「基準量」「割合」「比較量」を矢印を使って表す関係図を導入して3年生から一貫して扱い、数量の倍関係を正しく把握する技能を身につける工夫をしている。 ○各学年の統計に関する単元を1学期に担当し、夏休みの自由研究に活用する興味関心を高めている。	
表記・表現	○図や式、数量に補足の言葉をつけて、理解しやすいように工夫している。 ○新しい記号、用語、単位などは太字で書かれ、単位については読み方や書き順が示されたうえで、練習スペースが設けられている。	
総括	○QRコードでコンテンツをいつでも活用でき、教師が授業で使える資料としてだけでなく、児童も家庭で主体的に繰り返し学ぶことができる。 ○プログラミング的思考を活用する場面がPマークでわかりやすく掲載されており、デジタル化の対応に優れている。 ○演算を決定する際に、数量の関係を正しく把握する技能を身につけるために基準量×□倍＝比較量という関係図を一貫して示す工夫をしている。	

## 第13 採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名 項目	116 小学算数	
	日本文教出版	
内容	<p><b>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</b>            ○単元前に「次の学習のために」というレディネステストのページでしっかり復習してから新しい学習に入る構成になっている。            ○巻末の算数マイトライに「しっかりチェック」という補充問題ページがあり、単元途中の練習問題から関連ページへ進む指示がある。単元の終わりには「たしかめポイント」という練習問題と分からない時に確認すべきページの指示が用意され、繰り返し問題に取り組んで内容を確認し、基礎・基本を定着できるように工夫されている。</p>	
	<p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b>            ○「算数ノートをつくろう」では、児童が日頃から使っているノートをそのまま見本として掲載し、思考過程の記録や表現の仕方の手本が示されている。ノートに書く項目と着眼点が、学習過程に対応してわかりやすくまとめられている。</p>	
	<p><b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b>            ○「なるほど算数」では、数学の話題を取り上げ、算数への興味付けを図っている。            ○「学び方ガイド」を手がかりに主体的に思考したり表現したりする態度が育つよう工夫されている。</p>	
	<p><b>&lt;数学的活動を充実させるための工夫&gt;</b>            ○上巻末に問題解決型学習の過程を示した「学び方ガイド」を付録とし、いつでも使えるように丈夫なシート型で、切り取って1年間活用しながら主体的に学習できるように工夫されている。            ○「自分でみんなで」というページを各学年、3～4箇所設け、主体的・対話的で深い学びが実現される手がかりになるように板書や授業の流れが再現される紙面構成になっている。            ○「算数アドベンチャー」(下巻末)「Hello!Math」では、日常生活の事象を算数の視点からとらえて問題を提示し、生活の中で算数に親しむ機会を設定している。</p>	
資料	<p>○子どもの好奇心に働きかける題材をテーマとし、写真やカラフルなさし絵で資料への興味を持たせている。            ○統計資料について、低学年は資料の特徴をとらえ、中学年は問題設定とそのデータの集め方、高学年は分析、結論づけまでを系統的に学び、子どもがその過程を理解しやすいようにマンガで紹介するページが用意されている。</p>	
表記・ 表現	<p>○読みやすい文節での改行、見やすい色、図への補助的な言葉などで、子どもがわかりやすくなるように工夫されている。            ○新しい用語や記号、単位は太字で書かれ、単位は読み方、書き順なども記され、練習スペースもある。</p>	
総括	<p>○上巻末に問題解決型学習の学習過程を示した「学び方ガイド」を付録とし、切り取っていつでも活用しながら主体的に学習できるように工夫されている。            ○学期1回ずつの板書・授業再現ページ「自分で、みんなで」などで繰り返し問題解決型学習に触れ、児童の主体的な学びが展開されるように工夫している。            ○習熟熟度に応じて活用するページがあったり、問題解決に有効な言葉、観点、統計資料についての学習ページがあったりと、知識及び技能と数学的な思考力を系統的にバランスよく養う工夫がある。</p>	

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名 項目	新しい理科	2
		東京書籍
内容	<b>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</b> ○観察・実験の方法は、イラストや写真を多用しながら、注意が必要な点、ポイントとなる点についても示されている。 ○単元末の「たしかめよう」には、書き込み及び項目ごとに自己チェックができ、復習により理解を深める内容が記載されている。	
	<b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b> ○考察では、本単元や本時の学習で必要な理科の見方・考え方が「理科のミカタ」というワンポイントとして書かれている。 ○「学びをつなごう」では、学習のつながりを考える内容となっている。	
	<b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b> ○巻末の資料として、記録のしかたやノートの書き方、話し合いのしかた、道具の使い方などがまとめられていて、主体的に学ぶ際の参考資料となっている。 ○身近な現象や動植物を取り上げることで実感しやすくなっていたり、「環境マーク」で環境を意識させたりしている。	
	<b>&lt;見通しをもって観察、実験を行うための工夫&gt;</b> ○問題解決の各過程のまとまりが、見やすく構成されている。 ○漫画のコマ割りをを用いて、スムーズに単元導入へと入っている。	
	<b>&lt;自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するための工夫&gt;</b> ○巻末資料では、記録カード・ノートの書き方や話し合いのしかたなどがまとめられている。 ○結果から考察を深めることができる視点を、イラストで示してある。	
	<b>資料</b>	○QRコードを使い、参考・参照動画などを見ることがもできる。 ○写真や図、イラストを数多く掲載し、巻末の「学んだことをふり返ろう」では、習得した思考のしかた、概念や科学的な言葉を示し、定着状況が確認できるようにしている。 ○「実験器具の使い方」が巻末資料に載っている。
表記・表現	○ユニバーサルデザインに配慮した表記となっている。 ○安全に関する項目では「きけん」と赤文字で表記している。 ○問題解決の流れはフォントや色を変えて表記している。	
総括	○「理科の学び方」を巻頭で示して、問題解決学習の過程がひと目でわかる構成になっている。 ○「理科の調べ方を身に付けよう」で児童が見通しを持ち、自主的な理科の学び方を進めていく工夫がされている。 ○「学んだことを使おう」では、前の学年の振り返り、巻末で次年度の学習に触れ、学習の系統性を明確にしている。	

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名 項目	たのしい理科	4
		大日本図書
内容	<b>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</b> ○観察・実験の方法では、手順を写真や図を使って分かりやすく示している。 ○単元の終わりの「たしかめよう」では、復習にて理解を深めるページがある。	
	<b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b> ○考察では、キャラクターの台詞を読むことでヒントを得、進めることができる。 ○結果を観察カードやノートで示している場面もあり、児童の発想や表現力を引き出せる内容となっている。	
	<b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b> ○見出しをつけ、学習の進め方が意識しやすい構成となっている。 ○「環境マーク」で環境を意識させたり、「理科と仕事マーク」でキャリア教育について示したりしている。	
	<b>&lt;見通しをもって観察、実験を行うための工夫&gt;</b> ○「理科の学び方」として、問題解決の流れが巻頭に記載されており、学習の流れを理解し、進めていく内容となっている。 ○既習事項や生活経験をもとに予想をたて、実験計画を考えるようになっており、児童が見通しをもちやすくしている。	
	<b>&lt;自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するための工夫&gt;</b> ○「話し合いのしかた」「じっけんのしかた」では、どのような観点で観察・実験、話し合いを行うかのポイントを示している。 ○考察の「考えよう」では、話し合いの場面で互いに意見を出し合うなどして、科学的な見方・考え方を意識する内容となっている。	
資料	○巻頭にはQRコード、巻末には各学年の学習に活用できる資料が用意されている。 ○「りかのたまてばこ」には、学習した内容と実生活で役立つ事例が掲載されている。 ○「実験器具の使い方を覚えよう」が巻末資料に載っている。	
表記・表現	○ユニバーサルデザインに配慮された工夫がある。 ○安全に関する項目では「注意」と赤字で表記している。 ○問題解決の流れはフォントや色を変えて表記している。	
総括	○「理科の学び方」を巻頭で示し、問題解決学習の流れを意識させる構成となっている。 ○「話し合いのしかた」、「理科のノートの書き方」で児童が見通しを持ち、自主的な理科の学び方を進めていく工夫がされている。 ○学習した内容を応用した「ものづくり」の例(3年)や、次の学年(6年生は中学校)ではどんなことを習うのかなど、学習の系統性が明確に示されている。	

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名 項目	みんなと学ぶ 小学校理科	11
		学校図書
内容	<b>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</b> ○観察・実験では、実験材料の一覧とチェック欄が示されている。また、実験手順については、イラストや写真を用いながら、順番に説明している。 ○単元のサイドバーに「大事な言葉」を随時示してある。また、単元末には「まとめてみよう」や「できるようになった」で、学習の内容を振り返る内容がある。	
	<b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b> ○考察では、登場人物たちの会話が視点となり学習を進める内容となっている。 ○巻末資料に記録のしかたなどが載っており、表現力を育成するページがある。	
	<b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b> ○問題解決学習の進め方に沿った学習展開が示されている。 ○裏表紙のイラストが、学んだ自分たちが将来何の職業に効果的なのか、というコンセプトの絵になっていたり（キャリア教育）、「自然を大切にするために気を付けること」にマークを付けて環境を意識させたりしている。	
	<b>&lt;見通しをもって観察、実験を行うための工夫&gt;</b> ○「科学の芽を育てよう」で、学習の流れを示している。また、既習事項を示すことで、児童が問題を発見する際のヒントとしている。 ○巻頭にその学年で学ぶことが書かれている。	
	<b>&lt;自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するための工夫&gt;</b> ○実験結果をグラフなどにまとめて比べる方法など、データ整理の方法を例示し、考察の場面では、考える視点が示されている。 ○「伝える・聞く」では、話し合いのしかたがわかりやすく示してある。	
	<b>資料</b>	○QRコードで学習理解を助ける情報がある。 ○巻末の「考えよう調べよう」のページには疑問を見つけるところから、調べ方、話し合いのしかた、観察・実験の記録の方法などがまとめられている。 ○「実験器具の使い方」が巻末資料に載っている。
<b>表記・表現</b>	○ユニバーサルデザインの視点に基づいた表記になっている。 ○安全に関する項目では「注意」と赤文字で表記している。 ○問題解決の流れはフォントや色を変えて表記している。	
<b>総括</b>	○巻頭で、「科学の芽を育てよう」を示し、問題解決学習の流れを意識させるようにしている。 ○「調べよう、考えよう」で児童が見通しを持ち、自主的な理科の学び方を進めていく工夫がされている。 ○「〇年生で学んだね」として既習の学習を振り返ったり、「もうすぐ〇年生」として次年度への意識を高めたりするなどして、学習の系統性を明確にしている。	

(別紙様式)

第13 採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名 項目	未来をひらく 小学理科	17
		教育出版
内容	<b>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</b> ○観察・実験のページは色分けされ、ひと目で分かりやすくなっている。 ○単元末の「確かめ」では、学習内容の定着が図られるようになっていて、理解を深めることができる振り返りができる内容が記載されている。	
	<b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b> ○考察「結果から考えよう」では、観察・実験の結果をもとに考察する視点が示されており、自分の予想（仮説）の確認ができる内容になっている。 ○巻頭にノートの取り方、実験結果の記録参考例が示してある。	
	<b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b> ○単元導入に、「学習のつながり」が示されていて、児童が既習事項から新たな問題を主体的に引き出せるようになっている。 ○「メッセージ」「科学の窓」など学習した内容と実社会を関連させるコラムがあったり、「地球となかよしマーク」で環境を意識させたりしている。	
	<b>&lt;見通しをもって観察、実験を行うための工夫&gt;</b> ○巻頭に「学習の進め方」で、問題解決学習の流れが明確に示され、展開へと導いている。 ○巻頭に前学年の学習内容が一覧になっており、既習事項の確認がしやすい。	
	<b>&lt;自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するための工夫&gt;</b> ○巻頭に「自分たちの考えを伝え合い、学び合おう」として話し合いの場面に使用することができる用語が掲載されている。 ○各グループでの結果を全体で共有し、考えを深めさせるなど、対話的に考察する場面が掲載されている。	
資料	○「資料調べ」に活用できるQRコードが載っている。 ○「広がる学び」「メッセージ」など、実生活に基づくことや発展した視点を示す資料が示されている。 ○「実験器具の使い方」が、使用する単元の中に掲載されている。	
表記・表現	○ユニバーサルデザインに配慮した表記となっている。 ○安全に関する項目では「注意・きけん」と赤文字で表記している。 ○問題解決の流れはフォントや色を変えて表記している。	
総括	○「学習の進め方」を巻頭で示して、問題解決の流れを意識させている。 ○巻頭に「学習の進め方」「ノートのとり方」「自分たちの考えを伝え合い、学び合おう」が示されていて、見通しをもって学習を進められるようになっている。 ○単元冒頭では、「学習のつながり」を示し、各学年の学習内容の系統性が明確に表現されている。	

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名 項目	わくわく 理科	61
		啓林館
内容	<b>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</b> ○観察・実験の方法では、写真に注釈を加えて分かりやすく示してある。また、実験器具の使い方などではウェブサイトを利用する案内が記載されている。 ○単元の終わりには「たしかめよう」のページがあり、復習ができる。	
	<b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b> ○考察「結果から考えよう」の場面では、登場するキャラクターたちのつぶやきに注目することで、考察へと導くよう示されている。 ○巻末資料として記録・ノートの取り方の参考例が記載されている。	
	<b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b> ○巻頭や巻末で、主体的に学ぶ学習の進め方が記載されている。 ○学習内容が、実社会でどのように活用されているか、「理科の広場」などで示している。また、「しぜんを大切にマーク」をつけ、環境を意識させている。	
	<b>&lt;見通しをもって観察、実験を行うための工夫&gt;</b> ○問題解決学習の流れが統一されており、明確な見通しをもった観察・実験を行う内容となっている。 ○導入の場面では、「思い出してみよう」という既習内容を振り返るコラムがあり、児童が課題を見つけやすく記載されている。	
	<b>&lt;自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するための工夫&gt;</b> ○巻末資料として「話し合いのしかた」「理科につながる算数のまど」など、思考する上でヒントになる項目が示されている。 ○結果をグラフ化し、科学的に考察する場面も掲載されている。	
資料	○動画資料を再生することができるQRコードがついている。 ○巻末に「ものづくり広場」「フムロウ博士の資料室」など、学習の際に活用できる内容をまとめた資料がある。 ○「器具の使い方」が巻末資料に掲載されている。	
表記・表現	○ユニバーサルデザインに配慮した取り組みが表記となっている。 ○安全に関する項目では「注意」など、赤文字で表記している。 ○問題解決の流れはフォントや色を変えて表記している。	
総括	○「自然の不思議を、とき明かそう」を巻頭で示して、問題解決の過程がひと目でわかる構成になっている。 ○「フムロウ博士の資料室」で児童が見通しを持ち、自主的な理科の学び方を進めていく工夫がされている。 ○学習の初めに「思い出してみよう」という前年度の学習を振り返る場面があり、巻末には次の学年に向けて意識付けさせる文章がある。	

(別紙様式)

第13 採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

項目	書名	2
	あたらしいせいかつ	東京書籍
内容	<p>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</p> <p>○上下巻末に「かつどう べんりてちょう」が掲載され、活動に応じて活用できるようになっている。また、「学び方」や学習技能・習慣の定着が図られるよう工夫されている。</p>	
	<p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</p> <p>○児童が思考・判断・表現している姿が、挿絵や吹き出し、作品例などで示されている。また、多様な表現活動や交流活動が例示され、児童が気付いたことを表現し、考えることができるように工夫されている。</p>	
	<p>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</p> <p>○意欲や自信を持って対象と関わる姿が写真やイラスト等で提示されている。</p> <p>○「できるようになったことをふりかえろう」というページを設け、学習内容を振り返り、生活を豊かにしようとする態度を養う工夫がされている。</p>	
	<p>&lt;具体的な活動や体験を通して気付きの質を高めるための工夫&gt;</p> <p>○「小単元名」の中に、具体的な活動内容が示され、さらに本文中に大文字で「活動のめあて」が示され、見通しを持って学習に取り組めるようになっている。</p> <p>○具体的な作品やワークシートの例示を各単元ごと定位置に掲載し、児童が自分で考え「気付き」を獲得していけるよう工夫されている。</p> <p>○下巻の「学びをふかめる」コーナーでは、児童が思いや願いを実現していく過程で、友達と対話しながら試行錯誤する様子や伝え合いを通して新たな気づきが生まれる様子など、深い学びの具体的な姿が示されている。</p>	
資料	<p>○上巻末に実物大の動植物を掲載した「ポケットずかん」があり、必要に応じて屋外に持ち出し、実際に手に持ちながら観察ができるようになっている。</p> <p>○巻末には、生活科で学習する習慣や技能をまとめた「かつどうべんりてちょう」が設けられ、活動に応じて活用できるよう工夫されている。</p>	
表記・表現	<p>○季節ごと・単元ごとに色を変えて、活動内容がわかりやすくなっている。</p> <p>○キャラクターや児童のイラストによって、思考を促すヒントや安全上の留意点が投げかけられている。</p>	
総括	<p>○大判サイズの中に、大きな写真と活動意欲を高める挿絵が配置されている。挿絵の吹き出しは、習得を図りたい力に沿うような言葉で示されている。</p> <p>○「どきどきわくわく1ねんせい」でスタートカリキュラムを扱い、入学当初の学習を円滑に行えるように工夫されている。</p>	

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

項目	書名	4
	たのしいせいかつ	大日本図書
内容	<p>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</p> <p>○各巻末に「がくしゅうどうぐばこ」が設けられ、生活技能・情報・具体的な活動例が紹介されるとともに、必要な生活習慣の習得ができるように構成されている。</p>	
	<p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</p> <p>○児童の実態に合わせ、多様な方法で表現を楽しむ場面が例示されている。また、交流や伝え合いなどの表現活動により、児童が気付きを共有し、質が高まるように工夫されている。</p>	
	<p>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</p> <p>○「がくしゅうどうぐばこ」では、情報収集や伝達の手段などが示されており、対象と意欲的に関わり、学ぶ際の手掛かりとなっている。また、イラストや写真を多用することで、生活を豊かにしようとする態度を養う工夫がされている。</p>	
	<p>&lt;具体的な活動や体験を通して気付きの質を高めるための工夫&gt;</p> <p>○「絵や言葉」だけでなく、多様な方法で表現を楽しむ場面を例示し、思考や表現の幅を広げる工夫がされている。</p> <p>○「オノマトペ」の生き生きとした表現を多用し、子どもの感覚や世界が日広がるよう工夫されている。</p> <p>○気付いたことを交流する機会を設け、自分の考えを広げていく場面を板書例で示したり、学んだことを実生活に生かしている姿のイラストを示したりすることで、生活を豊かにしようとする態度を養えるように工夫されている。</p>	
資料	<p>○各巻末に「がくしゅうどうぐばこ」が設けられ、動植物や道具の使い方などが紹介されている。</p> <p>○「透明シート」を活用し、昼と夜の町を比較できるようになっているなど、楽しいしかけのページが充実している。</p>	
表記・表現	<p>○見開きごとに、風船の中に活動内容が端的でわかりやすい言葉で示され、児童が課題意識を持って活動に取り組めるようになっている。</p> <p>○「せいかつことば」や「きらきらことば」、気付きが深まり、広がるような情報を見開きページ右端に適宜掲載されている。</p>	
総括	<p>○生き生きとした児童の写真や挿絵、学習の記録カードの見本が示され、学習意欲が高まるように工夫されている。</p> <p>○季節に沿った単元の構成で、人・社会・自然を生かした一体的な流れで、上巻「なかよし」から下巻「はっけん」へと発展させている。</p>	

(別紙様式)

第 1 3 採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名 項目	みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ (学校図書)	1 1
		学校図書
内容	<p>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</p> <p>○「生活科学び方図かん」では、活動の基礎となる内容がまとめられており、技能の習得が図れるように工夫されている。「ものしりノート」は、学習体験や知識が広がるように構成されている。</p>	
	<p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</p> <p>○児童の気付きや思いが、様々な方法で表現できるように配慮されている。また、発達段階に応じた対話の場面が設定され、児童が自分の考えを広げたり深めたりできるように工夫されている。</p>	
	<p>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</p> <p>○「ものしりノート」というノート例を具体的に示すとともに、記録を重視した構成になっている。交流しながら振り返る場面が例示され、自分の心の成長を自覚し、生活を豊かにしようとする態度を養う工夫がされている。</p>	
	<p>&lt;具体的な活動や体験を通して気付きの質を高めるための工夫&gt;</p> <p>○単元の扉で児童の楽しそうな活動の様子を大きな写真で掲載し、活動への意欲付けを図れるように工夫されている。</p> <p>○表現方法として劇、ペープサート、クイズなどの方法が提示されている。表現方法を知り、多様な表現ができるように配慮されている。巻末の「生活科学び方図かん」では、発達の段階に合わせて表現し、考えることができるように工夫されている。</p> <p>○活動場面から見つけた課題に対し、上巻では、4人グループや個と個の対話、下巻では、他のグループや多くの児童との話し合いの場面を掲載し、発達の段階を考慮した対話の場面を設定するように工夫されている。</p>	
資料	<p>○上下巻末の「学び方図かん」では、学習スキルや安全のページが設けられ、下巻では「試す・見通す」などの具体的な言葉も提示されている。</p> <p>○本文中に「ものしりノート」として、記録やもの作りなどの活動、参考となるページが設けられている。</p>	
表記・表現	<p>○単元が大きく4つの段階に分けて示されており、活動の展開に見通しがもてるように工夫されている。</p> <p>○活動の中で資料が活用しやすいように参考となるページが示されている。</p>	
総括	<p>○「生活科学び方図かん」「生き物図かん」では、自己評価欄を使って活動を振り返り、学びに向かう力を高められるように工夫されている。</p> <p>○学習体験が広がるように単元の途中に「ものしりノート」が配置され、遊び方や表現方法等が紹介されている。</p>	

(別紙様式)

第13 採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名 項目	せいかつ	17
		教育出版
内容	<p>〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉</p> <p>○「学びのポケット」は、生活科と他教科の連携が意識できるような内容になっており、幅広い学習活動が例示されている。また、本文中に出てくるクイズを通して新しい知識が持てるように工夫されている。</p>	
	<p>〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉</p> <p>○思考を組み立てたり、整理したりする活動や、気付きや考えを表現する多様な方法が示されている。また、他者と伝え合ったり、振り返ったりする活動が例示され、児童の自信や意欲を育む工夫がされている。</p>	
	<p>〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉</p> <p>○単元末に「もしも」のページを設け、豊かな発想を広げ、社会に主体的に関わる力の育成を図っている。また、「まんぞくハシゴ」で自分の思いを自己評価し、次の活動への意欲につなげる工夫をしている。</p>	
	<p>〈具体的な活動や体験を通して気付きの質を高めるための工夫〉</p> <p>○「ひんと」コラムで、多様な学習活動を繰り返し提示し、体験から気付きの質を高められるよう工夫されている。</p> <p>○巻末の「学びのポケット」には、自分で考えるときの着眼点や表現するときに参考となる言葉があり、それを基に表現し考えることができるように工夫されている。</p> <p>○思いや考えを整理する活動や思考ツールなどを使ってまとめる活動などが示されている。また、板書例は、児童の思考の流れが見えるように工夫されている。</p>	
資料	<p>○各巻末に「学びのポケット」が掲載され、他教科で習得した力を発揮できるよう工夫されている。</p> <p>○本文中に「どんぐりクイズ」と「やさいとくだものクイズ」が設けられ、児童の意欲を高める工夫がされている。</p>	
表記・表現	<p>○子供たちと同じ目線で一緒に活動するキャラクター「いぐら」の言葉で振り返りのヒントなどが示されている。</p> <p>○単元の各ページに発揮させたい「6つの力」を明示し、明確なめあてを持てるようにしている。</p>	
総括	<p>○活動のねらいがわかりやすいように、ページの上に見出しが配置され、また、生活科で学ぶ力がサイコロの表示で示されたりしている。</p> <p>○「まんぞくハシゴ」で自己評価し、学習したことを振り返ったり、無自覚だった気付きを自覚したりすることができるよう工夫されている。</p>	

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名 項目	せいかつ（光村図書）	38
		光村図書
内容	<p>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</p> <p>○「どうすれば」のコーナーで、着目させたいポイントやルールを分かりやすく示すように工夫されている。「？」マークやイラストの吹き出しなどで、自ら進んで技能を習得できるように工夫されている。</p>	
	<p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</p> <p>○発達段階や活動内容に合った多様な表現方法が示されている。児童が試行錯誤する活動や、体験活動と表現活動を繰り返しながら学習する活動が示され、気付きの質が高まるように工夫されている。</p>	
	<p>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</p> <p>○各単元が「ホップ」「ステップ」「ジャンプ」の3段階で構成されており、目的意識をもって自ら働きかけ、意欲をもって学び、日常生活の中で学びを生かすことができるような工夫がされている。</p>	
	<p>&lt;具体的な活動や体験を通して気付きの質を高めるための工夫&gt;</p> <p>○児童の活動の様子を写真で掲載し、活動への意欲付けを図っている。吹き出しの言葉で児童を次の活動へ促すように構成されている。</p> <p>○表現の方法としてポスター、新聞、パンフレットなどの方法が提示されている。巻末の「ひろがるせいかつじてん」には、気付きのポイントや観察の視点、表現方法が紹介されている。</p> <p>○試行錯誤する活動や体験と表現を繰り返しながら気付きの質を高められるように工夫されている。単元ごとにシールに書いた活動の振り返りで交流する時間が設けられ、より深い学びへとつながるように工夫されている。</p>	
資料	<p>○上下巻末の「ひろがるせいかつじてん」では、防災・安全や生活上必要な習慣、体験活動や表現活動の例が紹介されている。</p> <p>○「きせつのおくりもの」では、四季の風景や動植物の様子などが絵や写真で紹介されている。</p>	
表記・表現	<p>○単元が「ホップ」「ステップ」「ジャンプ」の3つに分けられており、活動の流れが分かりやすいように示されている。</p> <p>○「どうすれば」コーナーの4つ目が「？」で示されており、児童の考えが広がるように工夫されている。</p>	
総括	<p>○各単元が「ホップ」「ステップ」「ジャンプ」の3段階で構成され、学習の流れやねらいが示されている。</p> <p>○スタートカリキュラムやカリキュラムマネジメントの例が示されており、学びをつなぎ、広げる工夫がされている。</p>	

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名 項目	わくわくせいかつ㊤ いきいきせいかつ㊦	61
		啓林館
内容	<b>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</b> ○上下巻末に「がくしゅうずかん」が掲載され、基本的な学習活動の内容が分かりやすく示すように工夫されている。「できるかなできたかな？」で活動の振り返りを行うことで技能の定着が実感出来るように工夫されている。	
	<b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b> ○楽しかったことや気付いたことなどを表現する様々な方法が示されている。また、多様な伝え合い活動を例示し、児童が対話によって自分の考えを広げたり深めたりすることで、気付きが高まるよう工夫されている。	
	<b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b> ○「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」の3段階で構成され、単元末の「ぐんぐん」では学習を振り返り、自らの成長や学びの深まりを実感することで、満足感・成就感などの手ごたえとなり、学習したことを次の学習や生活へ生かそうとする態度を育てる。	
	<b>&lt;具体的な活動や体験を通して気付きの質を高めるための工夫&gt;</b> ○「わくわくボックス」で児童の心を揺さぶり、対象に直接働きかけることができるよう工夫されている。また、紙面にQRコードを掲載し、動画、スライド、音声などを視聴することができ、活動への意欲付けを図れるように工夫されている。 ○気付いたことを基に考えるための多様な学習活動の例が提示されているので、活動中のヒントとなり、気付きの質が高められる。また、表現方法として歌や付箋、ICTの活用などが示されている。 ○「ひろがるきもち」では学習を通して学んだことを、さらに深く学ぼうとしたり、生活に生かしたりしようとする姿を示し、意欲付けを図っている。	
資料	○上下の巻末に「がくしゅうずかん」があり、調べ方や記録の仕方、まとめ方などの学習スキルや、安全、道具の使い方などが紹介されている。 ○幼児教育や中学年以降とのつながりに配慮し、上巻巻頭に「すたあとぶっく」、下巻巻末に「3年生へのステップブック」が設けられている。	
表記・表現	○児童の思いや願いに沿った文章で、児童に気付いてほしいポイントや、意欲・驚き・喜びを表現するとともに、気付きの広がり・深まりを促す工夫がされている。 ○児童の発達に配慮し、読みやすくするため文章が短く区切られている。	
総括	○生活科の学びのプロセスを考慮し、「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」の3段階構成で単元の流れが示されている。 ○上巻の巻頭には「すたあとぶっく」、下巻巻末に「3年生へのステップブック」が掲載され、学びの入口と出口が分かりやすい構成になるよう工夫されている。	

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名 項目	わたしとせいかつ	116
		日本文教
内容	<p>〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉</p> <p>○上・下の巻末に「ちえとわざのたからばこ」が掲載され、生活科に必要な知識や技能、習慣が紹介されている。また「てあらい」「アレルギー」「ちゅうい」などのマークで、活動中に注意すべきことが分かるように工夫されている。</p>	
	<p>〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉</p> <p>○課題に合わせた多様な学習活動の例が、写真やイラスト、カードや発表の様子、吹き出し等で示され、思考を深め、表現力が豊かになるように工夫されている。</p> <p>○小單元ごとに「学びのまど」があり、学習活動を振り返り、次の課題が見つけれられるよう工夫されている。</p>	
	<p>〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉</p> <p>○活動の実践例を提示することで、対象に対し意欲や自信をもって学んだり、繰り返し関わってきたりしたことを振り返ることができるような構成になっており、生活を豊かにしようとする態度を養う工夫がされている。</p>	
	<p>〈具体的な活動や体験を通して気付きの質を高めるための工夫〉</p> <p>○見る、聞く、触れる、作る、探す、育てる、遊ぶなどの実際の活動の写真が多く、子どもたちが期待感を膨らませ意欲的に表現し、考えることができるように配慮されている。また、ポスターや動作化、ICTの活用などの表現方法が提示されている。</p> <p>○単元の最初と最後に交流する機会を設け、登場人物と一緒に自分も考えたり、友だちの意見や学習によって変容した自分に気付いたり、対象とするものとの関わりを深めたりして、気付きの質が高められる工夫がされている。</p>	
資料	<p>○上下巻末に「ちえとわざのたからばこ」があり、生活や学習で参考となるスキルや安全、生活習慣などについて紹介されている。</p> <p>○各単元に「ポケット図かん」のページがあり、児童が主体的に活動できるよう工夫されている。また、上巻では数ページを山折りすることで、植物の成長過程が一覧できる立体の仕掛けが作られている。</p>	
表記・表現	<p>○単元がわかりやすいようにシンボルマークと色で見やすく表されている。</p> <p>○下巻の表紙裏には、点字や絵や文を表す凹凸がつけられている。</p> <p>○先生や子どもの会話が吹き出しに書かれており、活動を示したり注意を促したりしている。</p>	
総括	<p>○上下巻末に、必要な知識及び技能、習慣が学習できる図鑑・資料として「ちえとわざのたからばこ」が掲載されている。</p> <p>○ページの左下に学習のめあてが示され、見通しをもって学習することができるように工夫されている。</p>	

(別紙様式)

第13 採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名 項目	音楽のおくりもの	17 教育出版
内容	<p><b>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</b> ○共通事項を「音楽のもと」として明記し、本題材の押さえが意識されている。また、最後のページに「音楽のもと」まとめのページが掲載されている。</p> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b> ○中・高学年では「音楽のもと」にメモ欄を設定し、児童が気付いた要素などを書き加えられるようにしている。 ○音楽づくりの教材には、「音のスケッチ」で例や工夫点の明確な提示がされ、児童の発想を助ける工夫がされている。</p> <p><b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b> ○全学年に主体的な学びを引き出す「まなびナビ」がある。また中・高学年には発展された「学び合う音楽」のコーナーがあり、プロセスが明記され、主体的な活動を助けている。 ○低学年には身体性を生かした教材が盛り込まれ、音楽を体全体で感じることで、豊かな情操を育む工夫がなされている。</p> <p><b>&lt;生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成するための工夫&gt;</b> ○日本の伝統的な音楽教材と外国の音楽教材を同題材の中に取り上げている。また、写真も豊富で児童のイメージを助ける工夫がなされている。 ○伝統音楽の和楽器に挑戦できる内容が盛り込まれ工夫されている。 ○「Short Time Learning」には、英語の歌が全学年に掲載されている。</p>	
資料	<p>○3年以上の共通教材歌詞の内容を生かしたワイドな写真が掲載し、想像力を育む工夫がされている。</p> <p>○けん盤ハーモニカのページは、実物大の写真が掲載することで児童が理解できることを配慮している。</p> <p>○「君が代」のページは、和紙を連想させるような色使いである。</p>	
表記・ 表現	<p>○ユニバーサルデザインを取り入れ、題材毎に色分け・表示されている。楽譜や文字の大きさも発達段階に応じて工夫されている。 (特別支援教育の視点に立った配慮)</p>	
総括	<p>○学年の発達段階に即し、系統だった構成や配列で、内容構成に一貫性がある。また、題材のプロセスが明記されており、教師側の支援に繋がる。</p> <p>○「主体的・対話的で深い学び」を意識した内容になっている。特に「学び合う音楽」のコーナーはプロセスが明記され、主体的な活動を助けている。また「まなびリンク」マークがついている教材は、WEBコンテンツが用意されアクセスし視聴することができる。教科書から一歩進めた学習活動が可能である。</p> <p>○特別支援の視点から色分け・字の大きさや配列など合理的配慮がある。</p>	

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名 項目	小学生の音楽	27 教育芸術社
内容	<p><b>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</b> ○曲想と音楽の構造との関わりについての気づきや理解を促す内容の吹き出しが配置され、学習目標との結びつきが分かりやすくなっている。</p> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b> ○思いや意図を実現するために役立つ写真やコラムが、発達段階や学習の系統性を踏まえ適切に示されている。また、音楽づくりの単元が、系統的に組み込まれている。対話を通し思考判断し、手掛かりとなるポイントが明示されている。</p> <p><b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b> ○主体的に学習できる「学びの地図」や「ふり返りのページ」を設けている。 ○鑑賞教材は、演奏家の曲に対する思いや先人たちの誇りや思いも想像できるようなコラムが配置されている。 ○歌唱教材の内容や写真について道徳教育や人権教育の観点から吟味され自分自身のよさを認識し、多様な価値のある他者を価値ある存在として尊重し協働し学習できるよう配慮されている。</p> <p><b>&lt;生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成するための工夫&gt;</b> ○生活の中にある様々な音が持つ働きや役割についてのコラムがある。また人を繋いでいく思考のきっかけとなる写真や特集が配置されている。 ○『ブラインドサッカー』等「音」や「声」の働きが社会にどう活かされているか考えられるよう配慮されている。</p>	
資料	<p>○紙面全体に配色を用い形状や濃度を変え確実に識別できる。またイラストや写真もユニバーサルデザインの配慮がある。</p> <p>○デジタル教科書の楽譜の拡大、縮小、書き込みなどが可能である。児童の考えも可視化でき、またQRコードによって鑑賞教材などの音源も試聴できる。</p>	
表記・表現	<p>○各学年に「歌いっごう日本の歌」として童謡や唱歌が取り上げられ、世代を超えて日本の文化を共有できる。君が代と世界の扱い方についても深く考慮がある。</p> <p>○1年生～6年生までの表紙をつなげると温かみのある1枚の絵になるように工夫されており、系統性が意識できるようになっている。また、題材ごとに通し番号がふられ、ツメによって題材のまとまりが示されている。</p>	
総括	<p>○系統性及び発展性をもって組織された題材を軸に表現と鑑賞の教材が関連、対照、対比されながら組み合わせられており、教材性を生かした多様で効果的な学習が展開できるように配列されている。</p> <p>○「つながる」をキーワードに、生活や社会とつながり我が国や郷土の文化を受け継ぎ対話的で協働的な学習が進められる教材が工夫されている。また日本や郷土の音楽を系統化し学習教材が配置され、日本の伝統音楽を丁寧に扱っている。</p>	

(別紙様式)

第13 採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名 項目	図画工作	9
		開隆堂出版
内容	<p>〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉</p> <p>○各題材のページや巻末の「造形の引き出し」で、学びの資料として工作や絵を描く活動に必要な幅広い知識や技術がまとめられ、発達段階に応じた知識や技能が身につくようになっている。</p>	
	<p>〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉</p> <p>○発想や構想を広げることに特化したページを設け、考えたり、決めて選んだり、伝え合ったりすることが豊かにできるよう、実際に試行錯誤している児童の活動の様子や吹き出しに思いや願いの言葉を載せ、制作のイメージを持ちやすくしている。</p>	
	<p>〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉</p> <p>○共同で取り組む活動や他者を想定した活動が多く示されており、活動の中では話合いの場面を多く取り入れ、児童が話し合いながら多様な活動をする場面や異学年、地域の人々等との作品を通した交流場面が例示されている。</p>	
	<p>〈表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させた学習を充実するための工夫〉</p> <p>○鑑賞の視点が明確で、他者と関わり合いながら互いの感じ方を言語化しやすくする工夫がある。また、写真や吹き出しで表現する喜びや楽しさが感じられるようになっており、身近なところにある造形活動に目を向け、話し合いができるようになっている。</p>	
	<p>〈用具の安全な取り扱いについて指導するための工夫〉</p> <p>○巻末の「造形の引き出し」で安全な用具の使い方や活動中に注意すべき内容を示すとともに、題材ごとに囲みで写真やイラスト、簡潔な言葉で分かりやすく説明している。</p>	
資料	<p>○色や質感、発想の行程が感じられる写真と児童の思いや願いの吹き出しで、児童の発想のヒントにつながるように工夫されている。巻末のコーナーを活用し、基礎・基本の知識・技術を豊富かつ系統的に示している。</p>	
標記・表現	<p>○全ての題材に「身に付けさせたい三つの資質・能力」が学習のめあてで示され、設定されたキャラクターが吹き出しで具体的な助言をしている。技術や安全面などを囲みやマークを用い、見やすく、わかりやすくしている。</p>	
総括	<p>○系統性のある各学年に設定されたテーマや題材名は、児童の創作意欲を喚起し、紹介されている写真や作品から、児童が自由に発想を広げられ、充実した造形活動が期待できるものとなっている。</p> <p>○関連内容のリンクやQRコードで課題作成の手順やポイント、用具の使い方などを動画等で見るできるようになっている。</p>	

(別紙様式)

第13 採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名 項目	図画工作	116
		日本文教出版
内容	<b>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</b> ○巻末や各題材のページで工作や絵を描く活動に必要な知識や技能、用具の使い方などが、わかりやすく示され、発達段階に応じた、造形活動の基礎的能力を培い、知識や技能の定着が図れるようになっている。	
	<b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b> ○「ひらめきポケット」のページで、児童が試してみたいくなるテーマを設け、色、形、質感の異なるものを紹介し、手や身体を動かしながら発想広げられる工夫がある。キャラクターや活動を示した写真に添えられた言葉が児童の発想や構想、表現のヒントになっている。	
	<b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b> ○主体的に学習に取り組めるよう各題材で「学習のめあて」で示すだけでなく、活動の後で活動を通して感じたり、考えたりしてほしいことを例示して振り返りができるようにしている。 ○学びを人生や社会で活かしたり、つないだりする活動を取り上げている。	
	<b>&lt;表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させた学習を充実するための工夫&gt;</b> ○「教科書美術館」「つながりひろがり」では、国内外の作家の作品や身近なもの自然の造形的な面白さを掲載し、児童がよさを感じ、表現と鑑賞を一体化しながら言語活動が図れるように工夫されている。	
	<b>&lt;用具の安全な取り扱いについて指導するための工夫&gt;</b> ○「気をつけよう」「ポイント」「かたづけ」の囲みで、用具を使う際に意識するとよいポイントを紹介するとともに、児童が材料や用具について、安全で適切な扱い方やかたづけができるようになっている。	
	<b>資料</b>	○児童の活動の様子や作品が色彩豊かに掲載され、吹き出しに書かれたコメントにより、児童の発想や構想、表現、鑑賞への関心と意欲が自然に高まるよう工夫されている。
<b>表記・表現</b>	○題材名と学習のめあて、リード文がひとまとまりで示されており、児童が活動の流れをつかみやすくなっている。 ○キャラクターが発想のヒントや活動の安全面や片づけ方といった活動のポイントを伝え、児童の学びを促す工夫がされている。	
<b>総括</b>	○学習のめあてを明確にすることで基本的な知識・技能・発想力を養うとともに、制作を終えて感じたことや作品への親しみを振り返る項目を活用し「図工に親しむ」ことも大事にし、児童の創作意欲を喚起している。 ○学びを生活や社会に活かしてつながる事例を紹介し、楽しく豊かな生活を創造する心を育む工夫がされている。	

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名 項目	新しい家庭 5・6	2
		東書
内容	<p>〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉</p> <p>○小題材ごとに「めあて」と「ふり返ろう」を、最後には「できたかな」の欄を設け、知識理解の定着と自己評価ができるように促す工夫がされている。</p> <p>○実習の「リンク」では別ページで、実寸大の写真や他教科との関連等が示されており、知識技能の定着が図られるよう配慮がされている。</p>	
	<p>〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉</p> <p>○全題材がステップ1～3の3段階の学習の流れになっており見通しをもつことができる。</p> <p>○大題材のはじめに「家庭の窓」として、家庭科の見方・考え方を示すことにより、学習の視点が明確にされている。</p>	
	<p>〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉</p> <p>○「生活を変えるチャンス」では、学習を振り返り、生活を見つめ直して課題解決をするための実践的な活動を促すよう工夫がされている。</p> <p>○「日本の伝統」として、古来より生活の中で活用してきたものが題材の学習内容と関連づけて示されており、日本人としての意識付けとなっている。</p>	
	<p>〈実践的・体験的な活動の工夫〉</p> <p>○題材の中に「考えよう」「話し合おう」などの活動が設けられ、記録ができるように構成されている。</p> <p>○左利きの写真を取り入れるなど誰にでも分かりやすい資料が入っている。</p>	
資料	<p>○QRコードが示されており、画像を見ながら学習することができる。</p> <p>○多様な学びと関連づけた資料が同じページに豊富に掲載されている。</p> <p>○写真よりイラストを用いることにより、多様な家族の在り方への配慮がなされている。</p> <p>○野菜の切り方が手順と共に数多く掲載されている。</p>	
表記・表現	<p>○「安全マーク」をはじめ、多様な学び資料と関連づけた多様なマークが用いられている。</p> <p>○活動の手順が左から右に順を追って示されている。</p> <p>○実習で行う作業が、巻末で実寸大の写真で示されており、児童が操作のイメージをもちやすくなるよう工夫されている。</p>	
総括	<p>○生活をよりよくするための視点を明確に打ち出し、それに添って課題解決していくための題材が配列された構成である。</p> <p>○多様な資料や「生活を変えるチャンス」といった活動の紹介により、自分の家庭生活を振り返ろうとする意欲を喚起するよう工夫されている。</p>	

(別紙様式)

第13 採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名 項目	わたしたちの家庭科 5・6	9
		開隆堂
内容	<p>〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉</p> <p>○調理と製作のページには「できたかな」を設け自己評価ができるように工夫されている。技能の項目ごとに設けられているので、細かに学習を振り返ることができる。</p> <p>○実習の流れに応じた、各活動の留意事項がイラストで問いかけられたり、喚起されたりしており、基礎的知識の定着が図られるよう工夫されている。</p>	
	<p>〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉</p> <p>○学習のはじめに「なぜ調理をするのだろうか」等と問うことにより、生活の課題に対する思考を促すような工夫がされている。</p> <p>○「見つける・気づく」「わかる・できる」「生かす・深める」という学びの段階が示され、見通しを持って学習できる工夫がされている。</p> <p>○「話し合おう」「考えよう」などの欄が設けられ、対話を通じて課題を解決できるよう工夫がされている。</p> <p>○プログラミングの考え方が示されたページがある。</p>	
	<p>〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉</p> <p>○「レッツトライ」のコーナーで、身につけた知識や技能を家庭生活の中で生かす活動例が具体的に示されている。</p> <p>○巻末に、生活の中にある伝統文化が多くの写真で紹介されている。</p>	
	<p>〈実践的・体験的な活動の工夫〉</p> <p>○「チャレンジコーナー」は、身につけた技能を発展させた作品や多彩な資料も掲載されており、学びを生活の中で実践するための配慮となっている。</p> <p>○左利きの写真を取り入れるなど誰にでも分かりやすい資料が入っている。</p>	
資料	<p>○画像等を見ることが出来るQRコードは、ページの学習に添った内容に関するコンテンツが掲載されており、関心を持てばすぐに学習を深める工夫がされている。</p> <p>○全ページに学習を深める資料となる「ひとロメモ」が設けられている。</p> <p>○調理でよく使う野菜等の切り方が裏表紙に掲載されている。</p>	
表記・表現	<p>○「安全マーク」をはじめ、視点を明確に示すためのマークが用いられている。</p> <p>○実習や活動の手順を示すイラストや写真、説明文が色の帯で左から右に見開きページで配列されていることが、実際の活動をイメージしやすくする配慮となっている。</p>	
総括	<p>○生活における自分の課題に基づいて、解決のための知識・技能を段階的に身につけ、学習を振り返って生活に生かすという、学習の流れを大切にした構成である。</p> <p>○家庭生活をよりよくするための基礎基本の学習を大切にしながら、自立につながる意欲が喚起されるよう工夫されている。</p>	

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名 項目	新しい保健	2
		東京書籍
内容	<p>＜知識及び技能が習得できるようにするための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○本文で大事な言葉は太字で表記されていて基礎的・基本的知識が習得できるようになっている。</li><li>○学習後、各項目の学習をまとめる「まとめる・生かす」と単元全体を振り返る「学習をふり返ろう」が設定されていて、知識の習得ができる構成になっている。</li></ul>	
	<p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○「調べる・解決する」で具体例や写真、資料を基に思考・活動し、自分の考えを深める構成になっている。</li><li>○「深める・伝える」では、学習したことを生かして考えたことを表現したり、話し合ったりする構成になっている。</li></ul>	
	<p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○「学習をふり返ろう」の欄中に、もっと知りたい、もっと調べたいと思ったことを書く所が設けられ、さらなる学びへの意欲付けとなっている</li></ul>	
	<p>＜健康・安全についての理解を深めるための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○「実験」では写真や動画など、映像で確認できる工夫があり、理解を深める手助けとなっている。</li></ul>	
	<p>＜生涯にわたって健康を保持増進する資質・能力を育成するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○「つなげよう」で、他教科や他学年の学習内容と関連をもたせ、「はってん」では中学校の内容を資料として掲載されている。</li><li>○アスリートの紹介やスポーツの意義を示す資料を掲載し運動と健康について考えられる内容になっている。</li></ul>	
資料	<ul style="list-style-type: none"><li>○学習課題に沿った図、写真、表、コラム等が豊富に使われている。</li><li>○「防災」「熱中症」「がん教育」「いじめ」「ASUKAモデル」など今日的な健康課題が取り上げられている。</li><li>○赤ちゃんの頃の手形や靴の写真では実際の大きさの写真を掲載している。</li><li>○健康や安全についての基礎的知識や現実の生活で課題解決する力が身に付くようバランスがとれている。</li><li>○自分の考えや感想などの書き込み欄が多く用いられている。</li></ul>	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"><li>○広い紙面で、写真、挿絵、イラストが豊富に配置されている。</li><li>○ユニバーサルデザインの視点で、書体は大きく見やすい工夫がされている。</li><li>○A4判に紙面を拡大し、児童の活動場面を明確に区別するレイアウトを採用している。</li><li>○重要な語句は太字で示したり、語句の開設欄が設けられていたり、関連する学習のページが明示されていたりといった工夫がされている。</li><li>○1つの項目が4ページの構成で統一されている。</li></ul>	
総括	<ul style="list-style-type: none"><li>○児童が主体的に課題解決的な学習に取り組めるよう、「気付く・見つける」→「調べる・解決する」→「深める・伝える」→「まとめる・生かす」の流れで紙面が構成されている。</li><li>○実生活に即した場面について考えさせる学習を通して、思考力・判断力・表現力の育成を図っている。</li><li>○学習課題に沿った図、写真、表、グラフ、コラム等を通して考えさせることで、健康・安全についての理解を深める工夫がされている。</li></ul>	

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

項目	書名	4
	たのしい保健	大日本
内容	<p>〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○学習内容が短い文章でまとめられていて、基礎的・基本的な知識及び技能が習得できるようになっている。</li><li>○「保健室の先生」や「校医さん」等の登場人物のコメントによって基礎的・基本的な知識が押さえられており、理解しやすい内容になっている。</li></ul>	
	<p>〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○各項目の最後に、「活用して深めよう」の欄が設けてあり、内容の活用や探求を促す工夫がされている。</li><li>○「話し合ってみよう」では、自身の生活をふり返る問いかけがなされ、自分の考えを表現する構成になっている。</li><li>○「話し合い活動の進め方」が明示されていて、自分の考えを表現しやすい工夫がされている。</li></ul>	
	<p>〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○「保健ゲーム」や書き込みの欄を設け、自主的、自発的な学習ができるようになっている。</li><li>○「調べ学習の進め方」が学習のヒントとして掲載されていて、児童が自分で適切な方法を選び学習しやすい工夫がされている。</li></ul>	
	<p>〈健康・安全についての理解を深めるための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○「はってん」や「ミニちしき」、「しりょう」の欄を設け、詳細な内容の説明を掲載したり、インターネットを使って学習できたりするなど、理解を深めるための工夫がされている。</li></ul>	
	<p>〈生涯にわたって健康を保持増進する資質・能力を育成するための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○「しりょう」や「はってん」で中学校へつながる内容を掲載している。</li><li>○巻頭にアスリート等についての紹介を行ったり、運動の例を掲載したりして、健康と運動について考える工夫がされている。</li></ul>	
資料	<ul style="list-style-type: none"><li>○児童が多くの中の中から課題となる点を見つけたり、気づいたりできるような資料が多く用いられている。</li><li>○「防災」「熱中症」「がん教育」「いじめ」「AED」等と今日的な健康課題が取り上げられている。がんを患う人と共に生きていくことを考えられる配慮がされている。</li><li>○3・4学年の「やってみよう」の活動では、シールが採用されている。</li></ul>	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"><li>○絵、図、写真、グラフ等が掲載されたり、「学習ゲーム」が掲示されたりと視覚に訴える表現になっている。</li><li>○小単元名→学習活動→まとめの流れで構成されている。</li><li>○「保健室の先生」等の言葉で、具体的な説明が加えられている。</li><li>○ユニバーサルデザイン等の観点に鑑み、書体は大きく太いユニバーサルデザインフォントを使用し、配色も読みやすく工夫されている。</li><li>○各項目が、見開き1ページで簡潔にまとまる構成となっている。</li></ul>	
総括	<ul style="list-style-type: none"><li>○各項目が、動機付けの「学習ゲーム」「課題把握」「課題解決学習」「活用」「まとめ」の学習パターンで構成されている。</li><li>○「学習ゲーム」では、クイズや間違い探しなどで学習内容に触れながら、児童が意欲的に学習に取り組んでいく工夫がされている。</li><li>○各学年の最後に振り返りのページがあり、これからの自分の課題を考える工夫がある。</li><li>○A B版のサイズを採用している。</li></ul>	

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名 項目	わたしたちの保健	207
		文教社
内容	<p>〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○2人の子供のキャラクターの補足や「保健の先生」による専門的な解説が示され、基礎的・基本的な知識・技能が習得できるようになっている。</li><li>○学習課題が明確に示され、まとめを黄色で囲んだり、大切な言葉を太字で表記したりする等の工夫がされている。</li></ul>	
	<p>〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○「調べてみよう」「考えてみよう」「話し合ってみよう」の欄で、キャラクターの説明があり、記述したり発表したりする活動を通して、思考力・判断力・表現力の向上を図る構成になっている。</li></ul>	
	<p>〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○「発展」「情報コーナー」が設けられ、関連する詳しい内容を紹介し、児童が自ら学ぼうとする意欲を引き出すよう、工夫されている。</li><li>○注「つぶやきくん」で学習への意欲を喚起する豆知識が掲載されている。</li></ul>	
	<p>〈健康・安全についての理解を深めるための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○「新しい自分のレベルアップ」でこれから自分ができることや気をつけることを記述したり話し合ったりするようになっている。</li><li>○「やってみよう」で体験を通して学ぶ工夫がされている。</li></ul>	
	<p>〈生涯にわたって健康を保持増進する資質・能力を育成するための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○単元の終わりに「わたしの○○宣言」という項目を設け、学習したことを生かし、自分が実践していくことを具体的に記述するようになっている。</li><li>○巻末にアスリートの言葉を掲載し、健康な生活と運動について考えられるように工夫されている。</li></ul>	
資料	<ul style="list-style-type: none"><li>○学習課題に応じた効果的なイラストが多く使われ、課題を身近なこととして捉える工夫がされている。</li><li>○写真や吹き出しを多く取り入れ、学習内容を理解する手助けとなっている。</li><li>○「犯罪被害を防ぐ方法」「防災」「性の多様性」に対する配慮など、今日的な課題を取り上げている。</li></ul>	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"><li>○動機付け1ページ後に、1時間の学習内容が3ページで構成されている。</li><li>○イラストや写真、図等を効果的に使用し、分かりやすく表現している。</li><li>○重要語句を太字で表現し、まとめを色枠で囲み、明確に示している。</li><li>○書体や文字の大きさ、配色はユニバーサルデザインを考え、読みやすい工夫がされている。</li></ul>	
総括	<ul style="list-style-type: none"><li>○「振り返ってみよう」「調べてみよう」「考えてみよう」「話し合ってみよう」の構成で思考力や表現力を高める工夫がされている。</li><li>○「新しい自分にレベルアップ」で健康な生活を送る資質や能力を育成することができる内容になっている。</li><li>○中学校への接続を考えた発展的な資料が掲載されており、児童が生涯にわたって健康を保持増進する資質能力を育成する工夫がされている。</li></ul>	

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名 項目	小学保健	208
		光文書院
内容	<b>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</b> ○大事な言葉が太字で表記され、知識が習得できるよう工夫されている。 ○章末に「学習のまとめ」を設け、大切なことを振り返る活動を取り入れることで、基礎的・基本的な内容が習得できる構成になっている。	
	<b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b> ○「調べよう」「考えよう」「話し合おう」で、は記述したり話し合ったりする活動を通して、自分の考えを表現できるよう工夫されている。 ○「学んだことを生かそう・伝えよう」では、今後自分がどうするかという意思決定をしたり友達にアドバイスしたりする工夫がされている。	
	<b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b> ○「広げよう・深めよう」では、ウェブサイトへ学習を広げる紹介が掲載されており、児童が興味を持って学びに向かう工夫がされている。 ○「発展」で関連資料を掲載し、児童が興味を持って学ぶ工夫がされている。	
	<b>&lt;健康・安全についての理解を深めるための工夫&gt;</b> ○「話し合おう」で他者との対話を通して自分の考えを広げ、「考えよう」で自分の考えを書くことで理解を深めるよう工夫されている。 ○「学習のまとめ」は、学習を振り返り、理解を深める工夫がされている。	
	<b>&lt;生涯にわたって健康を保持増進する資質・能力を育成するための工夫&gt;</b> ○「さらに広げよう深めよう」では自分のこととして課題を捉え、これからの生活に生かすことができるようになっている。 ○「コラム」で運動と健康に関する内容を取り上げている。 ○「さらに広げよう・深めよう」として中学校で学習する内容が簡潔な文章やイラストで紹介されている。	
	<b>資料</b> ○章の扉で4コマ・6コマのストーリー形式のイラストを取り入れ、児童が身近な話題に共感しながら課題に対する意欲を高める工夫がされている。 ○イラストを多く取り入れ、学習内容の理解を深める手助けとなっている。 ○「食育」「防災」「がん教育」「性の多様性」について、今日的な課題を取り上げている。 ○オリンピック・パラリンピックアスリートの言葉が取り上げられている。	
表記・ 表現	○見開き2ページで、学習課題から学習活動、まとめまで学習の流れを見通すことができる構成になっている。 ○「解説」「科学のとびら」「この人に聞く」「豆知識」によって、学習内容をさらに深める資料が豊富に掲載されている。 ○漢字にふりがな、学習活動を太字で表現し、読みやすくなっている。 ○記号は色分けして見やすくなっていて、用語も正確である。	
総括	○「はじめに」「調べよう」「考えよう」「やってみよう」「話し合おう」「自分の生活に生かす・伝える」という構成になっている。 ○「発展」に身近な生活に関する事項・事例を踏まえた対応の仕方などが掲載され、児童が健康な生活を送る資質や能力を育成することができる内容になっている。 ○「話し合おう」の活動で考えを記述することにより、よりよい生活について考える構成になっている。	

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名 項目	みんなの保健	224 学研教育みらい
内容	<p>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○「ここで学ぶこと」で習得させたい内容について明確に示し、本文で知識をていねいに記述しながら、「ことば」でさらに詳しく説明している。</li><li>○「考える・調べる」で図や写真をもとに知識が習得できるようになっている。</li></ul> <p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○「考える・調べる」の活動の中で比べたり調べたり話し合ったりして、友達と交流しながら、自分の考えを表現できるように工夫されている。</li><li>○「まとめる・深める」で実践例をもとに自分の考えを記述したり、これからの自分の行動を考えたりする工夫がされている。</li></ul> <p>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ウェブサイトやインターネットやデジタル教材で、学習を広げたり深めたりするように工夫されている。</li><li>○「もっと」「おうちで」「ちいきで」の欄では、児童が主体的に取り組むことができるように工夫されている。</li></ul> <p>&lt;健康・安全についての理解を深めるための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○「実習」や「もっと知りたい・調べたい」で実際に体験する活動を取り入れて、学習内容の理解が深まるように工夫されている。</li><li>○「かがくの目」で写真を多く取り入れ、「見えないものが見える化」して理解が深まるように工夫されている。</li></ul> <p>&lt;生涯にわたって健康を保持増進する資質・能力を育成するための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○口絵でスポーツに親しむ写真を掲載したり、「実習」や「関連・体育とつながる」で運動を紹介したりして、健康と運動について考え、実践することができるよう工夫されている。</li><li>○「発展」では、中学校の○年生で学習する内容、として紹介している。</li></ul>	
資料	<ul style="list-style-type: none"><li>○写真やグラフを多く取り入れ、視覚的にわかりやすい資料が多く使われている。</li><li>○課題に応じたウェブサイトを掲載し、児童の学習を支援している。</li><li>○「防災」や「パソコン・タブレットと健康の関わり」「がん教育」「いじめ」など、今日的な課題を取り上げている。</li></ul>	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"><li>○学習活動と本文の字体を変えて、何を学習するのか、何が大切なのが分かりやすい表現になっている。</li><li>○見開き2ページで1時間の学習の流れが分かるように表記されている。</li><li>○それぞれの記号の色や形が工夫がされている。</li><li>○様々なキャラクターが登場し、学習を助ける工夫がされている。</li></ul>	
総括	<ul style="list-style-type: none"><li>○「つかむ」「考える・調べる」「まとめる・深める」という構成になっている。</li><li>○話し合いの活動で「友達と」、振り返りやまとめで「おうちで」等、学習活動する上での工夫が多く表記されている。</li><li>○見開き2ページで、「つかむ」「考える・調べる」「まとめる・深める」という学習過程が統一され、学習の見通しがもてるようになっている。</li><li>○「科学の目」での写真や図解が知識習得の効果的な手助けとなっている。</li></ul>	

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名 項目	NEW HORIZON Elementary	2 東京書籍
内容	<p>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○言語の使用場面重視の、通しのストーリーで学習の流れが創られている。</li><li>○音声を繰り返し聞いて、児童自身のことばとして少しずつ発話できるようになるための活動（練習パート）が用意されている。</li><li>○学習内容を紙面の定位置に配置し、流れが分かりやすく示されている。</li><li>○QRコードなどを使うとメトロノームに合わせて練習することができる。</li></ul>	
	<p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○児童が友達や先生について知るための活動や、興味・関心のあることについて話す活動が数多く取り入れられている。</li><li>○リスニングの活動では場面や状況をイラストや写真で示し、児童が内容を推測しながら取り組めるようになっている。</li><li>○全教科の指導時期を踏まえた単元配列になっており、他教科に関連したCLIL（内容言語統合型学習）が充実している。</li></ul>	
	<p>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○グローバル社会の「生活の中で英語を使う」イメージと「人と人とのつながり」の大切さを伝えようとしている。</li><li>○児童が相手意識を持って活動に取り組めるようになっている。</li><li>○各単元には、単元の内容に関連した異文化理解のためのページがある。</li></ul>	
	<p>&lt;聞くこと、読むこと、話すこと[やりとり]、話すこと[発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成するための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○各単元で3観点別の目標が設定されている。また、紙面見開きごとに目標を明示し、「何のための活動であるか」を示し評価の目安としている。</li><li>○音声から文字への流れを重視し、各単元が「聞く→話す（やり取り・発表）→読む・書く」の流れで構成されている。</li><li>○どの技能（領域）を重点的に扱う時間なのかを意識できるよう、各活動に技能アイコンが示されている。</li></ul>	
資料	<ul style="list-style-type: none"><li>○全3冊。本体と別冊（Picture Dictionary）がある。別冊は600～700語や表現が1冊にまとめられ、携帯して自学自習や2年間の「自分自身の学びの履歴」として使い続けることができる。</li><li>○学習教材として「えいごランド」「英語活動用ドリル」がある。</li></ul>	
表記・ 表現	<ul style="list-style-type: none"><li>○新4線（第2線は点線）と新ユニバーサルデザイン書体を開発し、見やすさ・書きやすさが工夫されている。</li><li>○教師用指導書で4線入力システムが提供されている。文字は「実線」と「なぞり書き用のくさび形」の2種類がある。</li></ul>	
総括	<ul style="list-style-type: none"><li>○基本構成は、各Unitでは「音に出会う」「会話に慣れる」「コミュニケーションを楽しむ」「世界を広げる」のあと、まとめとして「Check Your Steps」で学びを確かめられる。目標と評価が一体化する指導の流れになっている。</li><li>○年間指導計画のバリエーションが豊富に用意されている。</li></ul>	

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名 項目	Junior Sunshine	9
		開隆堂
内容	<p>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt; ○外国語の音声や文字、語彙、表現などについて、リスニングやチャンツ、ゲームなどの言語活動を繰り返し行うことを通して、基礎的な知識を身に付けられるように工夫されている。 ○実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能が身に付くように、各単元において、単語の習得から表現の習得へと易から難への配列がなされている。</p>	
	<p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt; ○単語などの基礎的な知識を身に付けた後に、徐々に友だちとやり取りしながら自己表現することで、無理なく実際のコミュニケーション活動で活用する技能を身に付けられるよう配慮されている。</p>	
	<p>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt; ○友だち、クラス、自分の町、日本、世界と場面設定が広がっていき、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養うための工夫がされている。</p>	
	<p>&lt;聞くこと、読むこと、話すこと[やりとり]、話すこと[発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成するための工夫&gt; ○4技能を活用するための基礎となる知識・技能を習得できるよう繰り返しの学習を充実させている。活動ごとに4技能を示すマークが付いていて、一年間の学習の後に何ができるようになったか児童が確認できるリストがある。 ○学んだ英語表現や語彙をやり取りの中で生かすことを大切にし、レッツトライではコミュニケーションをしている実感を与えられるよう場面設定している。 ○語彙や表現は、単元を越えて、さまざまな活動の中で繰り返し使うように工夫されていて確実な定着を目指している。</p>	
資料	<p>○5年生の冒頭、6年生の巻末それぞれに前学年、中学校との接続を図るページが設けられている。 ○国語や社会など、他教科に関連した活動やコラムが多く配してある。</p>	
表記・表現	<p>○1年間の学習が始まる前に、各学年巻頭のCAN-DOマップで学習の見通しが立てられる。また、配当時間1時間につき1ページの構成を基本としている。 ○一目でどのコーナーかが判別できるように、コーナーごとに色を変えている。</p>	
総括	<p>○繰り返し学習で、知識と技能を確かなものになっている。 ○対話と協働を重ねて、知識・技能を身に付け、さらに思考力・判断力・表現力を伸ばせるよう配慮されている。 ○主体的な学習を生み出す身近な場面を設定している。</p>	

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名 項目	JUNIOR TOTAL ENGLISH	11
		学校図書
内容	<p>〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉</p> <p>○英語を用いた言語活動を通して目標を達成し、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けることができるように構成。</p> <p>○特に「音声」に関してはチャンツを含めて、日本語と英語の音の違いに気付く工夫がされている。</p> <p>○「語・連語・慣用表現」については、外国語活動において取り扱った語を繰り返し学習する構成となっている。</p> <p>○アルファベットの定着を無理なく行えるよう配慮。</p>	
	<p>〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉</p> <p>○コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、英語で表現したり、伝えあったりできる構成となっている。</p> <p>○読む・書くに関しては、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識して書いたりさせる構成となっている。</p>	
	<p>〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉</p> <p>○Word Corner や Word List を使って効率よく語彙を学ぶことができる。活動とも関連させ、使いながら身につくようになっている。</p> <p>○各 Lesson に教科横断・異文化理解のアクティビティがあり、英語を通して学びを広げられるようになっている。</p>	
	<p>〈聞くこと、読むこと、話すこと[やりとり]、話すこと[発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成するための工夫〉</p> <p>○4技能5領域を示すマークが各演習についている。5年生 Lesson1 から4技能5領域を用いた演習を扱う。</p> <p>○文及び文構造について、文を表示する際には文頭をそろえてある。</p> <p>○コミュニケーションを行う目的、場面、状況などの明確な設定があり、児童が話したり、聞いたりしたいと思えるように工夫してある。</p>	
資料	<p>○年に2回の Project Time にて発表の時間があり、まとまりごとの深い学びができる。</p> <p>○Lesson のはじめのページは Scene という見開き一枚絵になっていて、絵探しの要素もある。</p> <p>○付録 ; Pre-lesson、Word Corner、歌、Word List、</p>	
表記・表現	<p>○歌、Scene の Small Talk、Let' s Listen、チャンツを基本セットとし、その後に本時の内容に迫る演習を行う指導展開ができるようになっている。</p> <p>○UD デジタル教科書体採用。4線は5:6:5。第3線のみ濃くなっている。</p>	
総括	<p>繰り返し聞かせることに重点を置いている。各演習が15分ずつの目安で展開できるよう工夫されている。年に2度の Project Time では他者への配慮なども考えることができるよう工夫されている。単元末の絵本コーナーにおいて、学習した表現や文字への気付きができるように工夫されている。</p>	

(別紙様式)

第 1 3 採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名 項目	CROWN Jr.	1 5
		三省堂
内容	<p>〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉</p> <p>○少しずつだが、豊富なインプット（聞く・話す）と少しのアウトプット（話す・書く）を繰り返す。</p> <p>○世界の童話や実生活を題材に、意味を推測しながら英語を聞いたり、読んだりする活動がある。</p> <p>○音から文字へ、スモールステップでむりなく書く活動に取り組める。</p>	
	<p>〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉</p> <p>○目的や場面を意識し、自分で話す内容や構成を考えながら表現する小単元（JUMP）が学期に1度ずつ配置されている。また、各小単元の中に2度ずつ、表現活動が設定されているため、より達成感を得やすい。</p>	
	<p>〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉</p> <p>○身近な話題からグローバルな話題まで、高学年の子供たちが興味を持てるように幅広く扱っている。</p> <p>○Panorama や Story に楽しさを感じられる工夫がされている。</p>	
	<p>〈聞くこと、読むこと、話すこと[やりとり]、話すこと[発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成するための工夫〉</p> <p>○Lesson の流れの中で、言語活動を通して段階的にターゲット表現の習熟が図られる配列になっており、Lesson のまとめでは「書く活動」も含まれている。</p> <p>○文構造は基本的なものが選択・提示され、大単元の最終課題に取り組めるよう配慮されている。</p> <p>○語彙については、児童の言語活動に必要な観点から、発信語彙、受容語彙が適切に選択されている。語彙の大部分はイラストとともに綴りが提示されている。</p>	
資料	<p>○Panorama のページでは、見開き一枚絵のイラストで、その課のターゲット表現や語句を提示。Small Talk や絵探し、単語・表現の導入、習熟の活動ができる。</p> <p>○付録；単語表、フレーズ表（教室英語、会話での表現）、コラム、CAN-DO リスト</p>	
表記・表現	<p>○STEP では LESSON の構造が同じなので授業の流れがイメージできる紙面構成となっている。</p> <p>○専用の手書き文字書体と4線。4線つき書体もダウンロード可。カラーユニバーサルデザイン。</p> <p>○全体的に文字は大きめ。行間も広い。</p>	
総括	<p>HOP・STEP・JUMP の3種類の小単元を配置。単元は1学期に一つの大単元として扱え、教師側は教えやすく、児童側は学びやすい教科書となっている。2度の表現活動を設けることによって、児童自身が自らの変容に気付きやすい工夫がされている。</p> <p>見開きの導入ページは多彩な活動展開ができる工夫がされている。</p>	

## 第13 採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名 項目	ONE WORLD Smiles	17 教育出版
内容	<p>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</p> <p>○日本語と英語の音声の聞き比べ、紛らわしい音声の聞き分けなどクイズ感覚の活動で気づきを促している。</p> <p>○映像を見ながら「聞くこと」を通したインプットから始め、音声のみで「聞くこと」、歌やチャンツを通しての発話、学んだ表現を使つての簡単な「やり取り」、伝えたい内容を「読むこと」「書くこと」を経て、最終的に「話すこと（発表・やり取り）」というアウトプットへと展開することが基本構成となっている。</p>	
	<p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</p> <p>○ペアやグループで取り組むコミュニケーション活動、協力し合いながら行うアクティビティが設けられていて実際にコミュニケーション活動をする機会が豊富に取り入れられている。</p>	
	<p>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</p> <p>○自分の住む地域や日本の良いところの紹介、好きなスポーツ選手の紹介など、世界に発信したくなる活動を設定している。</p>	
	<p>&lt;聞くこと、読むこと、話すこと[やりとり]、話すこと[発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成するための工夫&gt;</p> <p>○単元ごとに、5つの領域別の目標が記号や色分けで明示してある。</p> <p>○語、連語及び慣用表現については、自己表現に使えるように、小学生にとって身近なものが選定されている。</p> <p>○児童の身近な暮らしに関わる場面を中心としつつ、特有の表現が使われる場面もバランスよく設定されていてコミュニケーションを通して表現の意味や働きを体験的に理解できるように工夫されている。</p>	
資料	<p>○授業中に参照できるよう折り込みにアルファベット表、ローマ字表が付いている。</p> <p>○海外の子どもたちからの英語でのメッセージを掲載し、文字と読むことへの関心を高めている。</p> <p>○世界とのつながりを感じられるよう国際理解コーナーが設けられている。</p>	
表記・表現	<p>○教材内容や挿絵で、性別や人種の偏りが出ないように配慮されている。</p> <p>○手書きに近い書体を開発し、教科書全体で使っている。</p>	
総括	<p>○学校生活に合った活動が多いので、楽しく学べて力がつく。</p> <p>○活動をイメージしやすく、教師が指導しやすい。</p> <p>○「やってみたい」と思えるしかけがあり、「英語が好き」を育てる。</p>	

(別紙様式)

第 1 3 採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名 項目	Here We Go!	3 8 光村図書
内容	<p>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt; ○Hop, Step, Jump という段階を踏んだ各 Unit の学習で、基礎的な知識及び技能を着実に習得できるようにしている。 ○聞く活動→チャンツによる口慣らし→簡単な練習→コミュニケーション活動→書く活動とスモールステップを踏んだ活動が組み込まれている。 ○欄外の「発音」や Sounds and Letters で音声知識を押さえている。</p> <p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt; ○コミュニケーションの目的や場面、状況に応じた活動になるように指示文を工夫するなどの配慮がされている。 ○聞く活動は場面設定がはっきりしており、話す活動ではコミュニケーションの目的がはっきりしている。</p> <p>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt; ○各 Unit に World Tour コーナーを設け、題材に関連して世界各国の文化に対する理解を深めることができるようにしている。世界 12 か国の子どもたちの生活の様子を継続的に取り上げている。 ○巻頭で、コミュニケーションでは相手意識をもつことが大切であることを示すなど、他者へ配慮する態度が身に付くようになっている。「あいづち」など Response が大切であることを示唆している。</p> <p>&lt;聞くこと、読むこと、話すこと[やりとり]、話すこと[発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成するための工夫&gt; ○4 技能 5 領域の言語活動がバランスよく配置されている。わかりやすいアイコン・マークで領域が示されている。 ○具体的な目的や場面、状況などに応じて英語を聞くことを重視している。 ○教科書が一貫したストーリーになっていて、アニメーション動画が用意されている。各単元で 3 観点別の目標が設定されている。また、紙面見開きごとに見取りの中心となる目標を明示し、「何のための活動であるか」を示し評価の目安としている。</p>	
資料	○巻末に「絵辞典」が付いており、カテゴリーで語彙を整理している。 ○水性ペンで何度も消したり書いたりできる「ペンマンシップノート」、「学習した表現の一覧」、シール、CAN-DO シール等がある。	
表記・表現	○国語や書写のアルファベットやローマ字の学習との関連に配慮して、光村図書が発行する教科書のローマ字表やフォントと統一されている。 ○教科書のサイズを AB 判にし、横幅のある紙面を生かしている。	
総括	○Unit を支える教材として、Alphabet Time (アルファベットの大文字と小文字の読み書きに徐々に慣れる)、Fun Time (文字遊びを系統的に位置づけている。), 「世界の友達」, 「言葉について考えよう」がある。 ○文字遊び、早口言葉、英語の物語、英語の歌が各 Unit の最後に紹介されている。	

(別紙様式)

第 1 3 採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名 項目	Blue Sky elementary	6 1
		啓林館
内容	<p>〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉</p> <p>○各 Unit で学習する語句や表現を明示し、一部の語句を入れ替えることで、文構造の理解を促し、自分の思いを伝えられるように工夫されている。</p> <p>○演習問題やコラムで異文化に触れる内容を扱い、言語的な知識と文化的な知識をともに得られるようにしている。</p> <p>○知識・技能の定着を促すべく、短時間での繰り返し学習に適した内容が適宜配置されている。</p>	
	<p>〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉</p> <p>○Listen and Guess などの演習では、新出語句や表現の意味、使い方を場面や状況をもとに推測する力を養う。</p> <p>○Review の中で既習の表現を、場面や状況を変えて使用できるか問い、実際にコミュニケーション活動を行う工夫がされている。</p>	
	<p>〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉</p> <p>○毎時間、Unit 学習後の振り返りが教科書の中で行える。</p> <p>○教科書に QR コードがついており、児童が自主学習において、音声にアクセスできる。</p> <p>○日本と異なる外国の言語的・文化的な内容への気付きを促す「異文化理解」のコラム、また、Review においては、相手の話したことや気持ちなどを考慮して、自分の意見を伝える「他者への配慮」を必要とした活動が含まれる。</p>	
	<p>〈聞くこと、読むこと、話すこと[やりとり]、話すこと[発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成するための工夫〉</p> <p>○4 技能 5 領域を示すマークが各演習についている。また、Can-Do リストで目標の達成度を自身で確認できる。</p> <p>○5 年生では主に自分の身近なことや知っていることを英語で表現する内容を多く扱い、6 年生では身の周りを詳しく調べたり、少し離れたことを知ったりしながら学習する内容を多く扱っている。</p>	
資料	<p>○各 Unit の扉には既習事項を使ったやりとりや、Unit への導入に適した Small Talk に使えるイラスト素材が散りばめられている。</p> <p>○付録 ; Story、Word List、Can-Do List、ワードカード、アルファベットカード</p>	
表記・表現	<p>○Unit のはじめに Goal が明記され、各 Part のめあてを達成していくことで、スモールステップで Goal 到達できるようになっている。</p> <p>○UD フォント採用。4 線幅は 5:6:5。</p>	
総括	<p>「We Can!」に沿った配列であるため、教員は使いやすいと予想される。ページごとにめあてが書いてあり、授業の中ですべきことが明確である。教科書に書き込むところも多く、We Can と同じ感覚で使用できる。また、教科書に「学びに向かう力」が評価できる振り返りがついている。</p>	

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名 項目	新しい道徳	2
		東京書籍
内容	<p>〈道徳科の目標に関わる工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○全学年共通で教材のタイトルに内容項目が提示されており児童は学習のテーマとしてとらえ道徳的価値へ方向づけることができる。</li><li>○巻頭に「道徳の学習を進めるために」のページを設定している。また「道徳の時間がはじまるよ」のページと併せて学び方の手引きとなっている。</li><li>○巻末には学習のふり返りページが学期ごとに用意されており、1年間の成長を見つめ記録できるページが設置され、色ぬりと併せて楽しく学ぶ工夫がみられる。</li><li>○全学年で教材を4つの観点に分けて示し、目次とは別に色やデザインを工夫して示してある。</li></ul>	
	<p>〈現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○全学年で情報モラルに関する教材を扱い特設ページを設けている。</li><li>○「命の教育」の他にも、「キャリア教育」「国際理解教育」「自然災害」等に関連した内容をバランスよく取り扱い、資料も豊富である。</li><li>○「いじめをしない、許さない心」を育てる教材とのユニットとして「いじめのない世界へ」が併設され、導入に生かされるよう工夫がみられる。</li></ul>	
	<p>〈発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○低学年は各教材に「はじめに」という内容項目に迫る発問がある。中・高学年では教材の終わりに「考えよう」が用意され、考えを深める手がかかりとなるような工夫がみられる。</li><li>○児童同士の交流を促す「出会う・ふれ合う」で、対話的な学びができるように具体的に活動できる工夫がみられる。</li></ul>	
	<p>〈「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○巻頭の「道徳の時間が始まるよ」では、発達段階を考慮しながら、考えたり話し合ったりする学び方の流れが示されている。</li><li>○各教科等との関連を図る「つながる・広がる」が配置され、教科横断的な視点で道徳性を育成する工夫がなされている。</li></ul>	
資料	<ul style="list-style-type: none"><li>○挿絵や写真など様々な形式の教材を掲載し児童の日常生活に迫る工夫がみられる。</li><li>○インターネットを活用して学ぶDマークが設定されている。</li><li>○巻末には「みんなで歌おう」が設置されている。</li></ul>	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"><li>○1年生ではひらがな表記が基本であり、当該学年の配当漢字は使用せず読みの負担を軽減している。</li><li>○難しい語句については、必要な情報を脚注で解説している。</li><li>○文字の大きさや配置、挿絵や写真の色使いへの配慮、AB版で大きく読みやすい工夫がみられる。</li></ul>	
総括	<ul style="list-style-type: none"><li>○児童の心を揺さぶる感動的な教材や身近な話題で共感を呼ぶ内容などをバランスよく配置している。</li><li>○付録ページや資料も豊富で、日常の学習活動でも道徳性を育てるための工夫がみられる。</li></ul>	

(別紙様式)

第 13 採択地区教科書用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名 項目	かがやけ みらい 小学校道徳	11 学校図書
内容	<p>〈道徳科の目標に関わる工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○道徳的な価値や課題と出会う「きづき」と、そこでの気付きをもとによりよいあり方を考え、議論し、深め合う「まなび」の二冊で一つの教科書として構成することで、児童が主体的に気付き、学びを深めることができるようになっていく。</li><li>○「きづき」本文には、内容項目、主題、発問がなく、児童自ら問題に気付けるよう配慮されている。</li><li>○「まなび」では、ユニット構成し、同じ内容項目の学びを1ページに収めることで、複数時間での関連を図った指導ができる工夫がされているとともに、児童が自らの学びを重ねていく工夫がされている。</li></ul> <p>〈現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○「いじめをしない、ゆるさない心」を育むために、様々な教材を取り扱い、児童が気付きや学びを一つ一つ積み上げ命の大切さを実感できるよう、年間を通して計画的な教材配列がされている。また、「ともにいきる」マークを配置し、系統的に学びを深められるように工夫されている。</li><li>○情報モラルについて身近な課題から学びを深め、情報の発受信についての知識や利用能力を養う教材が取り上げられている。</li><li>○「インクルーシブ教育」「キャリア教育」「ジェンダー・LGBT教育」「国際理解教育」「防災教育」「食育」など現代的な課題を、自らの問題として考えられる教材を多く扱っている。</li></ul> <p>〈発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○新聞記事や実際の出来事、実際の学校や町で起こりうる状況を、漫画や写真、グラフなどで示し、児童の興味・関心を引き付ける工夫がされている。</li><li>○全学年に「ともにいきる」マークと「情報モラル」マークを配し、発達段階に応じて特に「いじめの問題」と「情報モラル」についての価値理解を深められるようにしている。</li></ul> <p>〈「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○「きづき」では四つの視点をマークで視覚的に示し、「まなび」では「やってみよう」「考えよう」「みつめよう」の発問を配し、学習内容と活動が端的に分かるように工夫されている。</li><li>○「まなび」の「こころのパレット」では、授業の導入や終末で道徳的価値について自分のこととして考えられる工夫がなされている。</li><li>○役割演技を通して、児童が道徳的価値について主体的に考える学習活動には、「やってみよう」のマークが明示されている。</li></ul>	
資料	<ul style="list-style-type: none"><li>○「きづき」と「まなび」の二冊で一つの教科書として構成されている。</li><li>○教材文を精選、文字数の削減により、教科書を軽量化している。</li></ul>	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"><li>○読み間違いしづらい「ユニバーサルデザインフォント」を使用している。</li><li>○全学年で文字を一回り大きくし、行間を広げて読みやすくしてある。</li></ul>	
総括	<ul style="list-style-type: none"><li>○「きづき」と「まなび」の二冊で一つの教科書として構成することで、児童が主体的に気付き、考え、議論し、学びを深めることができる。また、「きづき」での教材配置、「まなび」での記入により、複数時間での関連を図った指導ができる工夫がされている。</li></ul>	

(別紙様式)

第 13 採択地区教科書用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名 項目	小学道徳 はばたこう明日へ	17 教育出版
内容	<p>〈道徳科の目標に関わる工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○全学年を通じて、多種多様な教材が配置され、教材に設けられている「考えよう」「深めよう」「つなげよう」では、道徳科で学んだことを日常生活の中で生かし、豊かな心を育むことができるように発問を工夫している。</li><li>○巻頭の「道徳開き」、巻末の「学びの記録」欄を設け、1年間の学び方を明確にするとともに、「学びの記録」で学習の記録を積み重ねることで、児童がこれまでの学習を振り返ったり、自らの変化や成長を実感したりすることができるようにしている。</li></ul>	
	<p>〈現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○「いじめをしない、ゆるさない」「自分やまわりの命を大切にする」「情報モラルを守る」の3つを重点テーマとし、全学年で多種多様な事例を取り上げて教材化している。</li><li>○「食育」「健康教育」「防災教育」「福祉教育」「法教育」「キャリア教育」など現代的な課題を多種多様な教材で扱い、多面的・多角的に考えられるように工夫している。</li></ul>	
	<p>〈発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○各学年で特に考えさせたい内容は、複数時間構成で扱い、児童の生活実態や発達段階に応じて配置し、スパイラル学習することによって考えを深められるようにしている。</li><li>○歴史や文化、スポーツなど様々な分野で輝かしい業績を築いた先人・偉人を取り上げ、その生き方にあこがれや共感を呼ぶ教材を選定し、自己の生き方について考えを深めていけるよう促している。</li></ul>	
	<p>〈「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○教材ごとの「学びの手引き」は、教材内容に即した問題や道徳的な課題が示され、主体的に解決する力を養うことができるとともに、児童が考え、議論しながら、道徳的価値についての学びを深められるよう工夫されている。</li><li>○道徳の時間の流れ「気づく」「考える」「深める」「つなげる」の4段階の紙面構成になっており、特に「考える」では、話し合い活動や役割演技が取り入れられている。</li><li>○全学年にわたって「やってみよう」のモラルスキルトレーニングのページが配置されており、考え、議論する場の提供がされている。</li></ul>	
資料	<ul style="list-style-type: none"><li>○各地域に関わりの深い教材を用い、身近な地域やわが国への理解と愛着を深めることができる。</li><li>○AB判で、紙面の横幅が広がっている。</li></ul>	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"><li>○2年生7月までは、分かち書き、文節改行での表記になっている。</li><li>○カラーユニバーサルデザインである。</li><li>○教材文中の登場人物やキャラクター、写真、イラストなどに人権上の配慮がなされている。</li></ul>	
総括	<ul style="list-style-type: none"><li>○複数時間構成でスパイラル学習することによって、児童の生活実態や発達段階に応じて、道徳的価値の理解を深めていけるよう教材配置がされている。また、モラルスキルトレーニングのページが全学年に配置されており、考え、議論する場の提供がされている。</li></ul>	

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名 項目	道徳 きみが いちばん ひかるとき	38
		光村図書
内容	<p>〈道徳科の目標に関わる工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○道徳的価値や自分の日々の生活に結び付ける発問や道徳的な価値そのものについて問うような配置がされており、明確で分かりやすい発問が工夫されている。また、学期末ごとに「学びの記録」を設け、書くことで学習への理解を深めさせる工夫がある。</li><li>○各教材末に「考えよう、伝えよう」が設けられ、問題解決のために話し合うことや考えることを多面的・多角的に考える教材が置かれている。</li><li>○自立した人間として他者とよりよく生きるための基盤となる道徳性を育成するために学期ごとに印で分け、深まりとつながりを意識した内容項目の配列に工夫がみられる。</li></ul>	
	<p>〈現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○「情報モラル」「いじめ問題」「現代的な課題」のテーマを設け、それぞれコラムも同時に配置する工夫がみられる。</li><li>○問題意識をもって多面的・多角的に考えたり感動を覚えたりするために、教材とコラムをユニットし、道徳の時間以外でも扱えるよう工夫されている。</li></ul>	
	<p>〈発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○発達の段階に即した内容や文量、世界観の広がりが見られる。</li><li>○自立した人間として他者とよりよく生きるための基盤となる教材を、学期ごとにバランスよく配置し計画的に学べる工夫がみられる。</li></ul>	
	<p>〈「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○主体的に考え、話し合うことが道徳の授業であることを示す「道徳の時間は」を設けている。漫画形式の教材、一枚絵、複数の資料と併せるなど、考え、議論する道徳の具現化に効果的な役割を与えている。</li><li>○「命」の大切さを意識できるように全学年にわたって同一作者による教材を配置している。</li></ul>	
資料	<ul style="list-style-type: none"><li>○「学びの記録」の位置づけにより、自己評価ができるような工夫がある。</li><li>○漫画形式、一枚絵、写真などをバランスよく配置している。また、教材に関連した本(話)を紹介し学習意欲を喚起する工夫がみられる。</li></ul>	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"><li>○低学年では、分かち書き、文節改行で表記されている。当該学年の配当漢字については振り仮名が付されており、読みの負担を軽減するための配慮がされている。</li><li>○文字の大きさや配置、挿絵や写真の色使いへの配慮、学期ごとに色分けされたまとまりの示し方など、ユニバーサルデザインの観点からも十分な配慮がなされている。</li></ul>	
総括	<ul style="list-style-type: none"><li>○問題意識を持ち多様に考えることができる教材をはじめ、各教材の特質が明瞭であり道徳性を構成するための教材をバランスよく掲載している。</li><li>○全学年共通で、手に取りやすいB5版サイズになっている。</li></ul>	

(別紙様式)

第 13 採択地区教科書用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名 項目	小学道徳 生きる力 道徳ノート	1 1 6
		日本文教出版
内容	<b>〈道徳科の目標に関わる工夫〉</b> ○巻頭「道徳のとびら」で学習内容やそのねらいが記されており、「道徳の学び方」では、学習の方法を解説し、学習の支援になるように配慮されている。 ○別冊として「道徳ノート」があり、自分の考えや友達の考えを記録することで道徳的諸価値についての理解を深めることができる。 ○児童の思考の流れに沿った3つの発問例(①導入のための発問例②教材のねらいに迫るための発問例③学習を通して気づいたことを生かしていくための発問例)を設定し、児童の自発的な思考を引き出そうと工夫されている。	
	<b>〈現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫〉</b> ○「人との関わり」を重点テーマの一つに据え、各学年三回、いじめ防止ユニットを扱えるように配置してある。また、各学年に6～8教材の直接的・間接的にいじめを扱う教材を用意し、発達段階に合わせた授業を展開できるように工夫されている。 ○「情報モラル」「平和・人権教育」「キャリア教育」「伝統文化教育」「国際理解教育」「法教育」「食育・健康教育」「消費者教育」など現代的な課題を扱い、世の中のさまざまな人と人とのつながりの中で生きる子供たちに深い学びを提供している。	
	<b>〈発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫〉</b> ○児童の発達段階を考慮した内容であり、1年間、および6年間を通した系統性が確保されている。その前後に続く校種間連携にも配慮されている。 ○保幼小連携・小一プロブレム解消の具体策として、一年生の教科書では「スタートカリキュラム」を意識した内容となっており、児童がスムーズに道徳科の授業に取り組めるように配慮されている。 ○各学年で特に考えさせたい内容(「人との関わり」「情報モラル」「安全な暮らし」「持続可能な社会」)は、複数時間構成で扱い、児童の生活実態や発達段階に応じて学習することによって、考えを深められるようにしている。	
	<b>〈「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫〉</b> ○「学習の手引き」では、体験的な学習の手法を用いた指導例や、問題解決的な学習の手法を用いた指導例を示し、活発な議論を促している。 ○「こころのベンチ」を設定し、道徳的価値をより深く、多面的・多角的に考えられるよう、教材と関連した内容や活動を取り上げている。 ○学習方法「②考える・深める」では、話し合い活動が具体的に写真で提示されていて「議論する道徳」が視覚的にとらえられるように工夫されている。	
資料	○別冊「道徳ノート」が本冊にちょうど収まるように配慮されている。 ○大きな判型 AB 判の採用に伴い、軽い用紙が使用されている。	
表記・表現	○漢字は、原則として当該学年の配当漢字までが使用され、当該学年以上の漢字にはすべてふりがながつけられている。 ○カラーユニバーサルデザインで、教材はすべて見開き単位となっている。	
総括	○児童の発達段階を考慮した教材配置がされており、6年間を通した系統性の確保だけでなく、その前後に続く校種間連携にも配慮されている。また、「こころのベンチ」では、ソーシャルスキル体験を通して、自分の考えを広げたり、道徳的価値の理解を深めたりすることができるように工夫されている。	

(別紙様式)

第 13 採択地区教科書用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名 項目	小学道徳 ゆたかな心	208
		光文書院
内容	<b>〈道徳科の目標に関わる工夫〉</b> ○巻頭のオリエンテーションに「さあ、道徳の学習が始まります」を配置し、道徳性を児童自らが考え理解し、目的意識をもって主体的に学習に取り組めるよう配慮されている。 ○巻末「学びの足あと」で学習の記録を積み重ね、児童がこれまでの学習を振り返ったり自らの変化や成長を実感したりすることができるようにしている。 ○各教材の「ひろげる」では、学習したことを家庭や地域、他教科に広げ、また中学校での学びにつなげるポイントが提示されている。	
	<b>〈現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫〉</b> ○「生命尊重」については、重点主題として6年間の見通しをもって取り組めるよう配慮するとともに、いじめへの対応として、全学年にコラム「みんな仲よし楽しい学校」を配置している。 ○情報モラルについて発達段階を考慮し、低学年では「ネットマナーについて」、中学年では「インターネットについて」、高学年では「スマートフォン・著作権について」を取り上げている。 ○「主権者教育」「人との共生」「防災」「キャリア教育」「伝統と文化」など現代的な課題を、自らの問題として考えられる教材を多く扱っている。	
	<b>〈発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫〉</b> ○各学年で特に考えさせたい内容は、「重点主題」として複数時間構成で扱っている。また、「生命尊重」については全学年で重点主題に設定し、発達段階に応じて価値理解を深められるようにしている。 ○偉人やスポーツ選手を取り上げ、児童の心を揺さぶり、共感を呼ぶ教材を選定し、深い学びを促している。	
	<b>〈「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫〉</b> ○道徳の時間の流れ「①問いをもつ」「②考える」「③まとめる」「④広げる」の4段階の紙面構成になっており、児童にも授業の見通しが明確に分かるように工夫されている。 ○言語活動の充実のために各教材の「まとめる」でノートなどに書いて言語化する活動を取り入れたり、「広げる」において読書活動につなげる提案がされたりしている。 ○「みんなでやってみよう」では、実際の問題場面を想定した活動を通して、人間関係を豊かにするためのコラムが載せられている。	
	<b>資料</b> ○多様な地域教材を用い、身近な教材を通して、児童の関心を引き出している。 ○A4版に近い大きさで、文字やイラストに余裕をもたせている。 ○分かりにくい言葉は、脚注で取り上げ解説している。	
<b>表記・表現</b> ○前年度までの漢字を使用し、1年生から3年生まではルビが付されている。 ○カラーユニバーサルデザインである。		
<b>総括</b> ○児童が、目的意識をもって主体的に学習に取り組むことができるよう、一時間の学習の流れや1年間の計画がわかりやすくなっている。また、道徳の時間に気づいたことや学んだことを学校での活動、家庭生活、地域社会など実生活へ生かそうとする意欲を引き出すことができるよう考えられている。		

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名 項目	新・みんなの道徳	224
		学研教育みらい
内容	<p>〈道徳科の目標に関わる工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○教材の始めに主題名を示さないことで、価値観を押し付けることなく問題意識から課題を見つけ、解決する過程を大切に価値に迫ろうとしている。</li><li>○全学年「命の教育」を共通テーマとし、それに関わる教材を連続配置して価値の補充・深化・統合をねらっている。</li><li>○巻末には「こころの宝物」のページを設置し、1年間の成長を見つめ記録できるような工夫がみられる。</li><li>○教材によっては、学び方のページ「深めよう」「つなげよう」「やってみよう」「広げよう」を設定し発展的な学習につながる資料を載せている。</li></ul>	
	<p>〈現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○全学年で情報モラルに関する教材を扱っている。高学年ではより身近な問題につながる内容(SNSに関する問題)を取り扱った内容になっている。</li><li>○「命の教育」の他にも、「キャリア教育」「国際理解教育」等に関連した内容をバランスよく取り扱っている。</li></ul>	
	<p>〈発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○重要テーマとして1・2年生は自己について、3・4年生は友達との関わり、5・6年生はともに生きることを設定し、関わる二つの教材を連続して配置している。</li><li>○低学年では、動植物を擬人化した教材を多く使用している。</li></ul>	
	<p>〈「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○巻頭の「道徳の学習が始まるよ」では、発達段階を考慮しながら、考えたり話し合ったりする学習の流れが示されている。</li><li>○「やってみよう」のページでは、役割演技による活動を設定している。</li><li>○各教材の終わりには「かんがえよう①②」のコーナーが設けられ、児童が自分の考えを深める手がかりとなるような工夫がみられる。</li></ul>	
資料	<ul style="list-style-type: none"><li>○巻頭には見開き一面に命の教育にかかわる写真が詩と共に載っている。</li><li>○挿絵、写真、ポスター、伝記、漫画形式など様々な形式の教材を掲載している。</li></ul>	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"><li>○低学年では、分かち書き、文節改行で表記されている。当該学年の配当漢字については、ルビが付されている。</li><li>○難しい語句については、必要な情報を脚注で解説している。</li><li>○文字の大きさや配置、挿絵や写真の色使いへの配慮、内容ごとの四つの色分けされた印での表示など、ユニバーサルデザインに配慮した表記・表現がされている。</li></ul>	
総括	<ul style="list-style-type: none"><li>○主題を記載しない方法を用いることで、問題意識を高めること大切にした構成・展開にして問題解決的な学習を促している。また、学び方のページを設けることで日常生活への広がりを持たせようとする工夫がみられる。</li><li>○全学年共通で、文字や挿絵を大きく見やすくするためにA4サイズになっている。</li></ul>	

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名 項目	小学生の道徳	232 廣済堂あかつき
内容	<p>〈道徳科の目標に関わる工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○教材とは別に「道徳ノート」があり2冊構成になっている。ノートは内容項目別になっており、道徳的価値についての解説も記載している。</li><li>○「道徳ノート」には、自分のことを記録するページがあり、自己をみつめ深める良い機会となる。</li><li>○全学年教材ごとに「考えよう・話し合おう」のコーナーが設けられている。高学年になると「学習のみちすじ」を示し学習を広げる工夫がみられる。</li><li>○「道徳ノート」には授業で感じたことや考えたことを記述する欄があり、自分の成長を感じたり、課題をみつけたりすることにつながる。</li></ul>	
	<p>〈現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○中高学年では情報モラルに関する教材を扱い特設ページを設けている。</li><li>○「命の教育」は全学年三つの教材が取り扱われている。</li><li>○中高学年では「国際理解」「自然災害」「伝統文化」などの内容も特設で取り上げられている。</li></ul>	
	<p>〈発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○2年生以上では、「道徳の時間はこんな時間」が設置されており、道徳の学び方が紹介され、学習へのイメージを持ちやすいような工夫がある。</li><li>○低学年では、節度・節制の内容項目を重要視し、イラストで具体的な場面などを示している。また、物語教材を多く採用し親しみやすい工夫がある。</li><li>○高学年では現代的な出来事や先人の苦労などについて書かれた資料が特設で掲載されている。</li></ul>	
	<p>〈「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○各教材には「考えよう・話し合おう」を設け問題解決的な学習への取り組みと自己を振り返り今後に生かす学び方の工夫がみられる。</li><li>○中高学年の「学び方のみちすじ」では、発問を手掛かりに活発な話し合い活動や多角的なものの見方ができるようにしてある。</li></ul>	
資料	<ul style="list-style-type: none"><li>○挿絵や写真など厳選して掲載し、シンプルで落ち着いた構成になっている。</li><li>○巻頭ページには詩が載せてあり、子供の笑顔の写真と共に道徳の学習へ気持ちが高まるような工夫がみられる。</li><li>○「道徳ノート」は教科書に差し込んで保管できるようになっている。</li><li>○教科書はA B版で大きく見やすい工夫がある。</li></ul>	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"><li>○当該学年の配当漢字にはルビが付され、読みの負担を軽減している。</li><li>○難しい語句については、必要な情報を脚注で解説している。</li><li>○内容項目ごとに色分けをして分かりやすく示している。</li></ul>	
総括	<ul style="list-style-type: none"><li>○教科書は「みんなで考え話し合う」、「道徳ノート」には「自分を見つけ、考える」と書かれており、それぞれが役割を持ち2冊セットとなって心の変化や成長が見て取れる工夫がある。</li><li>○イラストや写真が落ち着いた色使いで、シンプルな構成になっている。</li></ul>	